

1 令和7年度 富山市民学習センター概要

(1) 施設概要

- ① 所在地 富山市大手町6番14号
- ② 施設 富山市民プラザ 3階・4階 1,454.57㎡ (440.7坪)
- ③ 設置 昭和55年4月 社会教育センター
平成2年4月 市民学習センターに名称変更
- ④ 開館日時 午前9時～午後5時 (日曜・祝日・振替休日・年末年始は休館)
- ⑤ 施設内容

	区 分	面 積	収容人数
3階	子どものアトリエ	65.27 m ²	16 人
	ア ト リ エ	89.06 m ²	32 人
	アートライブラリー	102.64 m ²	24 人
	調 理 室	68.40 m ²	24 人
	事 務 室 等	360.39 m ²	20 人
	計	685.76 m ²	116 人
4階	講 義 室 1	151.30 m ²	70 人
	講 義 室 2	83.70 m ²	28 人
	講 義 室 3	70.20 m ²	30 人
	サークル室 1	33.68 m ²	16 人
	サークル室 2	28.63 m ²	12 人
	サークル室 3	28.63 m ²	12 人
	サークル室 4	33.68 m ²	16 人
	サークル室 5	33.68 m ²	6 人
	控 え 室・倉 庫 等	199.84 m ²	5 人
計	663.34 m ²	195 人	
	地 下 倉 庫	105.47 m ²	

◎ 富山市民大学陶芸実習施設 (花木)

- ① 所在地 富山市花木28
- ② 面積 106.86㎡ (32.4坪)
- ③ 設置 平成25年3月
- ④ 開館日 富山市民大学陶芸コース開設日のみ
- ⑤ 施設内容

	区 分	面 積	収容人数
1階	学 習 ス ペ ース	64.03 m ²	12 人
	窯 室	16.51 m ²	
	ホ ー ル そ の 他	26.32 m ²	
	計	106.86 m ²	12 人

(2) 事業概要

区分		事業趣旨・内容等	R6年度実績
学習機会 会の 拡充	市民大学開設	<p>市民の生涯学習を支援するため、系統のかつ継続的な学習機会を提供する。</p> <p>◇受講者数 1,841 人 ◇出席延べ人数 15,298 人 (540回) ◇コース数 全53コース ・一般 37コース ・創作 10コース ・プラネット 6コース</p>	<p>1,733 人 14,516 人 (544回) 全53コース 38コース 9コース 6コース</p>
	生涯学習の啓発	<p>市民の誰もが学ぶ意欲を育み、生きがいを見出すことができるよう多様な学習機会を提供し、世代を超え生涯学習への認識を高める。</p> <p>◇特別講演会 年4回 (351人) ◇特別講義 年5回 (262人) ◇富山市民大学祭 3日間 (1,404人) ◇わくわくキッズ教室 (夏・冬休み) 年6回 (80組 174人) ◇学報、叢書の刊行 学報1冊、叢書1冊</p>	<p>年4回 (470人) 年5回 (263人) 3日間 (1,313人) 年6回 (70組154人) 学報1冊、叢書1冊</p>
生涯学習団体等支援	<p>学習団体・サークル等に学習の場を提供し、市民の学習活動を支援する。</p> <p>◇各種学習団体・サークルへの支援 ・市民学習センター (市民プラザ内) 23サークル ◇富山市民大学学友会への支援 ・市民大学受講者の親睦と連携意識を育むとともに、自主的な活動による学習の支援を図る。</p>	23サークル	
生涯学習情報提供・相談	<p>学習活動を推進するため、学習内容・方法・プログラムの企画立案及び講師紹介等の相談業務を行う。 学習相談時間 月～金曜日 9:00～17:00 学習相談・情報提供件数 129件 (1月末現在)</p> <p>◇富山市ホームページによる情報提供 ◇富山県生涯学習情報提供 (とやま学遊ネットワーク)</p>	217件	

(3) 1年のあゆみ

月 ・ 日	事 項
令和7年	
4/4, 5, 7	富山市民大学受講手続き及び追加募集、学友会入会手続き
4/18	令和7年度富山市民大学 開講式・特別講演会 「和倉温泉と能登半島地震-旅館の記録から-」 能登乃國・和倉温泉 多田屋 若女将 多田 弥生 氏
4/22	富山市民大学コース スタート
8/4～8	夏休みわくわくキッズ教室（全5講座）
8/18	「叢書97号」発刊
11/3	山田地域文化祭特別講演会 「～おもしろ健口長生きのひみつ～」 歯科衛生士 精田紀代美 氏 ※文化祭は、山田公民館主催
11/18	富山市民大学 全コース終了
11/20～11/22	第45回富山市民大学祭
(11/20)	公開講座 「落語に親しもう」 落語家 三遊亭 良楽 師匠
(11/22)	特別講演会 『「とやまのます寿し」を学ぼう～歴史・文化・産業～』 富山ます寿し協同組合理事長 大郷 磨 氏 富山大学人文学部教授 鈴木 景二 氏 (株)富山市民プラザ本社事業部マネージャー 中屋 州策 氏
12/25	冬休みわくわくキッズ教室（1講座）
令和8年	
1/9～1/21	特別講義（5講義）
2/10	富山市民大学閉講式・特別講演会 「ガラスの街 富山」は -市民大学ガラス工芸コースから- きららガラス未来館名誉館長 野田 雄一 氏
2/24	富山市市民学習センター運営協議会
3/2～4	令和8年度富山市民大学受講申込み受付
3/31	「学報2025」発刊

(4) 富山市民大学開設一覧

○令和7年度(2025)【第48回】

	コース名	定員	受講者数	修了者数
一般	富山の環境-過去・現在・未来-	25	11	10
	富山のまち-持続可能なまちづくり-	25	23	19
	立山黒部ジオパークを知る	60	56	41
	郷土の歴史	60	72	60
	村(ムラ)と町の考古学	60	44	36
	日本の歴史	60	72	52
	世界の歴史	60	72	51
	中国史に学ぶ	60	72	57
	食と住の文化史	25	21	13
	歴史史料をひもとく	25	16	12
	おくのほそ道をよむ	25	27	25
	漢詩漢文の世界へ	25	28	21
	古文入門	60	63	55
	江戸時代の文学を読む	25	28	24
	暮らしを彩る短歌の楽しみ	25	28	23
	俳句入門	20	24	23
	川柳を楽しむ	20	22	21
	文学へのいざない	25	21	18
	朗読を楽しもう	20	29	26
	落語のはなし	140	112	85
	日本の歌、世界の歌	50	40	29
	音楽サロン	60	32	25
	女声合唱	80	76	62
	リコーダー演奏を楽しもう	40	41	34
	世界の国々	60	75	59
	美術の世界	30	35	24
	暮らしの中の和漢医薬学	60	54	37
	健康生活の知恵	60	62	48
	豊かな心	130	72	60
	リズム体操	50	50	34
	100歳まで歩こう	30	33	15
	暮らしの実学	60	61	50
	楽しい法律	60	72	61
	郷土の料理	18	19	18
	家庭のできる『やくぜん料理』	18	19	17
	季節の和菓子づくり	12	12	12
スイーツで O・MO・TE・NA・SHI	12	13	11	

	コース名	定員	受講者数	修了者数		
創作	洋画	20	25	24		
	日本画	20	29	17		
	版画	20	10	8		
	篆刻	20	7	6		
	書に親しむ	24	24	19		
	影絵を作ろう	15	9	9		
	陶芸	前期	A	12	11	11
			B	12	12	12
		後期	A	12	11	10
			B	12	10	10
プラネット	富山の郷土玩具”土人形”を作ろう	16	16	15		
	日本画(大沢野)	16	18	14		
	うまい水のルーツを探る	15	14	11		
	手作り銀粘土アクセサリー	前期	12	11	11	
		後期	12	9	9	
飛越往來	15	18	18			
計	53コース	1,928	1,841	1,472		

※受講者数は、受講手続きを行った者の数とする。
 ※修了者数は、7割以上の出席があった者の数とする。

《参考》

○令和6年度（2024）【第47回】

	コース名	定員	受講者数	修了者数
一般	富山の環境－過去・現在・未来－	25	15	9
	富山のまち－持続可能なまちづくり－	25	14	11
	立山黒部ジオパークを知る	60	52	38
	郷土の歴史	60	70	55
	地域の歴史遺産を巡る考古学	60	43	36
	日本の歴史	60	71	52
	世界の歴史	60	60	50
	中国史に学ぶ	60	56	49
	食と住の文化史	25	23	18
	歴史史料をひもとく	25	21	15
	古典歌謡への旅	25	9	7
	おくのほそ道をよむ	25	28	23
	漢詩漢文の世界へ	25	28	21
	古文入門	60	69	61
	江戸時代の文学を読む	25	20	20
	くらしを彩る短歌の楽しみ	25	24	20
	俳句入門	20	24	24
	川柳を楽しむ	20	17	16
	文学へのいぎない	25	19	15
	朗読を楽しもう	20	28	25
	落語のはなし	140	132	102
	日本の歌、世界の歌	50	41	32
	音楽サロン	60	40	27
	女声合唱	80	75	62
	リコーダー演奏を楽しもう	20	25	22
	世界の国々	60	70	45
	美術の世界	30	35	28
	くらしの中の和漢医薬学	60	38	32
	健康生活の知恵	60	54	45
	豊かな心	130	85	61
	リズム体操	30	40	28
	100歳まで歩こう	30	24	19
	暮らしの実学	60	55	43
楽しい法律	60	70	55	
郷土の料理	18	19	18	
家庭でできる『やくぜん料理』	18	18	18	
季節の和菓子づくり	12	12	11	
スイーツで O・M・O・T・E・N・A・S・H・I	12	13	11	

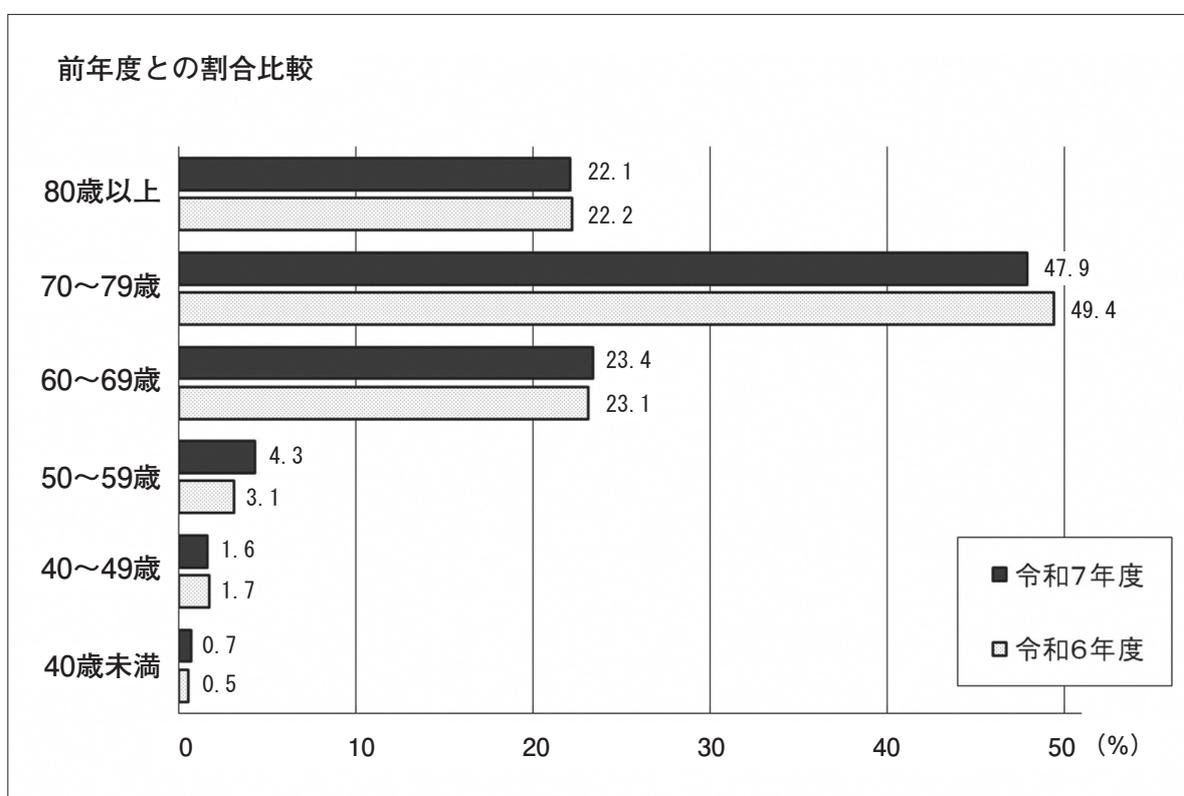
	コース名	定員	受講者数	修了者数	
創作	洋画	20	26	18	
	日本画	20	32	28	
	版画	20	12	12	
	切り絵	20	6	4	
	篆刻	20	8	7	
陶芸	前期	A	12	8	8
		B	12	12	12
	後期	A	12	12	12
		B	12	12	12
プラネット	富山の郷土玩具”土人形”を作ろう	16	12	11	
	日本画（大沢野）	16	16	14	
	うまい水のルーツを探る	15	9	9	
	手作り銀粘土アクセサリー	前期	12	11	10
		後期	12	4	3
飛越往來	15	16	15		
計	53コース	1,894	1,733	1,388	

※受講者数は、受講手続きを行った者の数とする。
 ※修了者数は、7割以上の出席があった者の数とする。

(5) 令和7年度富山市民大学受講者 年齢構成

年齢構成	受講者全体		累 計	
	人 数	比率%	人 数	比率%
80歳以上	407	22.1	407	22.1
70～79歳	882	47.9	1,289	70.0
60～69歳	430	23.4	1,719	93.4
50～59歳	80	4.3	1,799	97.7
40～49歳	29	1.6	1,828	99.3
40歳未満	13	0.7	1,841	100.0
合 計	1,841	100.0		
平均年齢	72.8 歳			

実人数：1,318人



② コース別一覧（受講者年齢構成）

コース名		年齢層		80歳以上	70~79歳	60~69歳	50~59歳	40~49歳	40歳未満	合計
一 般	富山の環境-過去・現在・未来-			2	6	2	1	0	0	11
	富山のまち-持続可能なまちづくり-			6	5	7	0	3	2	23
	立山黒部ジオパークを知る			10	25	19	1	0	1	56
	郷土の歴史			30	24	15	2	0	1	72
	村（ムラ）と町の考古学			12	24	7	1	0	0	44
	日本の歴史			26	28	16	2	0	0	72
	世界の歴史			13	40	17	2	0	0	72
	中国史に学ぶ			23	30	17	1	1	0	72
	食と住の文化史			5	12	4	0	0	0	21
	歴史史料をひもとく			3	9	2	1	0	1	16
	おくのほそ道をよむ			7	15	5	0	0	0	27
	漢詩漢文の世界へ			6	17	5	0	0	0	28
	古文入門			12	33	17	1	0	0	63
	江戸時代の文学を読む			9	10	9	0	0	0	28
	くらしを彩る短歌の楽しみ			7	12	9	0	0	0	28
	俳句入門			4	13	7	0	0	0	24
	川柳を楽しむ			6	10	6	0	0	0	22
	文学へのいざない			6	10	4	1	0	0	21
	朗読を楽しもう			5	10	13	1	0	0	29
	落語のはなし			28	61	19	2	1	1	112
	日本の歌、世界の歌			17	16	5	2	0	0	40
	音楽サロン			16	12	4	0	0	0	32
	女声合唱			11	46	15	4	0	0	76
	リコーダー演奏を楽しもう			1	21	17	2	0	0	41
	世界の国々			18	43	13	0	1	0	75
	美術の世界			6	18	10	1	0	0	35
	くらしの中の和漢医薬学			9	24	15	4	1	1	54
	健康生活の知恵			24	27	8	2	1	0	62
	豊かな心			14	40	15	2	1	0	72
	リズム体操			10	31	8	1	0	0	50
	100歳まで歩こう			7	23	3	0	0	0	33
	暮らしの実学			10	29	16	5	1	0	61
	楽しい法律			18	26	15	10	3	0	72
郷土の料理			2	4	8	4	1	0	19	
家庭でできる『やくぜん料理』			0	10	7	2	0	0	19	
季節の和菓子づくり			0	2	5	4	1	0	12	
スイーツでO・MO・TE・NA・SHI			0	5	6	1	0	1	13	
創 作	洋画			4	8	4	4	2	3	25
	日本画			3	19	4	2	1	0	29
	版画			0	8	1	0	1	0	10
	篆刻			0	4	3	0	0	0	7
	書に親しむ			2	9	11	1	1	0	24
	影絵を作ろう			2	5	1	0	0	1	9
	陶芸	前期	A	0	4	4	2	1	0	11
			B	0	2	6	3	0	1	12
		後期	A	1	3	4	2	1	0	11
			B	1	1	5	2	1	0	10
プ ラ ネ ッ ト	富山の郷土玩具“土人形”を作ろう			0	6	6	2	2	0	16
	日本画（大沢野）			0	16	2	0	0	0	18
	うまい水のルーツを探る			4	7	3	0	0	0	14
	手作り銀粘土アクセサリー	前期	1	5	2	1	2	0	11	
		後期	1	3	2	1	2	0	9	
飛越往來			5	11	2	0	0	0	18	
計				407	882	430	80	29	13	1,841

(6) 生涯学習の啓発

① 特別講演会

	日 程	演 題	講 師	会 場	参加人数
1	開 講 式 4月18日(金)	和倉温泉と能登半島地震 -旅館の記録から-	能登乃國・和倉温泉 多田屋 若女将 多田 弥生	市民プラザ アンサンブルホール	161人
2	プラネット 11月3日(日)	～おもしろ健口長生きのひみつ～	歯科衛生士 精田紀代美	山田公民館	50人
3	大 学 祭 11月22日(土)	「とやまのます寿し」を学ぼう ～歴史・文化・産業～	富山ます寿し協同組合 理事長 大郷 磨 富山大学人文学部 教授 鈴木 景二 (株)富山市民プラザ本社事業部 マネージャー 中屋 州策	市民プラザ アンサンブルホール	58人
4	閉 講 式 R8.2月10日(火)	「ガラスの街 富山」は -市民大学ガラス工芸コースから-	きららガラス未来館 名誉館長 野田 雄一	市民プラザ アンサンブルホール	82人
計					351人

② 特別講義

(会場：市民学習センター)

回	日 程	講 義 題	講 師	参加人数
1	1月9日(金)	三味線の歴史と今 ～そして新時代へ～ 生演奏	(株)楽家 代表取締役 濱谷 拓也	49人
2	1月14日(水)	富山産業大博覧会から チンドンコンクールへ	市郷土博物館 学芸員 浦畑奈津子	38人
3	1月16日(金)	楽しい法律〔家族と法律〕 ～相続 その時に備えて～	弁護士 吉田 洋	62人
4	1月19日(月)	片付けから始める生前整理 ～はじめの一步～	整理収納アドバイザー 浮田美紀子	61人
5	1月21日(水)	変化する野生動物の分布と生態 ～クマと共存していくには～	立山カルデラ砂防博物館 主任学芸員 白石 俊明	52人
計				262人

③ 第45回 富山市民大学祭 ※参加人数1,404人

(会場：市民プラザ)

日 程	内 容	発表コース・講演内容など
11月20日(木) ～ 11月22日(土)	学 習 発 表 (アトリウム) 作 品 展 (アートギャラリー)	一般・プラネット各コースの学習発表及び学友会活動紹介 のパネル展示 創作コース：洋画・日本画・版画・篆刻・陶芸・書・影絵 プラネットコース：富山の郷土玩具“土人形”を作ろう・日本画(大 沢野)・手作り銀粘土アクセサリー
11月20日(木) 午後	公 開 講 座 (アンサンブルホール)	「落語に親しもう」 講師：三遊亭 良楽 師匠 (富山市民大学「落語のはなし」コース講師)
11月21日(金) 午後	ス テ ー ジ 発 表 (アンサンブルホール)	リズム体操、朗読を楽しもう、リコーダー演奏を楽しもう、 女声合唱
11月22日(土) 午前	特 別 講 演 会 (アンサンブルホール)	「とやまのます寿し」を学ぼう～歴史・文化・産業～ 富山ます寿し協同組合 理事長 大郷 磨 富山大学人文学部 教授 鈴木 景二 (株)富山市民プラザ本社事業部 マネージャー 中屋 州策

④ わくわくキッズ教室

小学校1年生から3年生までを対象に、親子のコミュニケーションを図りながら、身近にある材料で造形活動を楽しむ講座
(会場：市民学習センター)

	日 程	内容・コース	指導講師	受講者数
夏 休 み	8月4日(月)	たのしい七宝焼	「シニアライフ講座」七宝焼講師 岡部八穂子	15組 34人
	8月5日(火)	森のクラフト工作	富山県林業カレッジ 稲葉 泰一 外2名	6組 16人
	8月6日(水)	季節の上生菓子づくり	菓子匠「平安堂」 黒崎のぞみ	15組 32人
	8月7日(木)			14組 29人
	8月8日(金)	土人形の絵付け	土人形制作講師 古川 圭子	16組 33人
冬 休 み	12月25日(木)	たのしい七宝焼	「シニアライフ講座」七宝焼講師 岡部八穂子	14組 30人
計				80組 174人



森のクラフト工作



季節の上生菓子づくり



たのしい七宝焼

⑤ 叢書・学報の刊行

- ・叢書 97号 「和倉温泉と能登半島地震-旅館の記録から-」
令和7年8月発行
多田 弥生(能登乃國 和倉温泉 多田屋 若女将)
- ・学報 「学報2025」 令和8年3月発行

⑥ 啓発事業のデジタル化

- ・富山市 LINE 公式アカウントによる情報配信
配信内容 市民大学の受講申し込み案内、特別講義、特別講演会、
市民大学祭等の啓発事業の案内



登録用二次元コード

2 富山市民大学 学習の記録

－ 開設コース一覧 (53 コース) －

(1) 一般

No.	コース名	頁
101	富山の環境－過去・現在・未来－	15
102	富山のまち－持続可能なまちづくり－	16
103	立山黒部ジオパークを知る	17
104	郷土の歴史	18
105	村(ムラ)と町の考古学	19
106	日本の歴史	20
107	世界の歴史	21
108	中国史に学ぶ	22
109	食と住の文化史	23
110	歴史史料をひもとく	24
111	おくのほそ道をよむ	25
112	漢詩漢文の世界へ	26
113	古文入門	27
114	江戸時代の文学を読む	28
115	くらしを彩る短歌の楽しみ	29
116	俳句入門	30
117	川柳を楽しむ	31
118	文学へのいぎない	32
119	朗読を楽しもう	33
120	落語のはなし	34
121	日本の歌、世界の歌	35
122	音楽サロン	36
123	女声合唱	37
124	リコーダー演奏を楽しもう	38
125	世界の国々	39
126	美術の世界	40
127	くらしの中の和漢医薬学	41
128	健康生活の知恵	42
129	豊かな心	43
130	リズム体操	44
131	100歳まで歩こう	45
132	暮らしの実学	46
133	楽しい法律	47
134	郷土の料理	48
135	家庭でできる『やくぜん料理』	49
136	季節の和菓子づくり	50
137	スイーツでO・MO・TE・NA・SHI	51

(2) 創作

No.	コース名		頁	
201	洋	画	52	
202	日	本 画	53	
203	版	画	54	
204	篆	刻	55	
205	書	に 親 し む	56	
206	影 絵	を 作 ろ う	57	
207	陶 芸	前 期	A	58
208			B	
209		後 期	A	
210			B	

(3) プラネット

No.	コース名	頁	
301	富山の郷土玩具“土人形”を作ろう	59	
302	日本画(大沢野)	60	
303	うまい水のルーツを探る	61	
304	手作り銀粘土アクセサリー	前期	62
305		後期	
306	飛越往來	63	

(1) 一般コース

101 富山の環境 —過去・現在・未来—

本コースでは「富山の環境」を過去から現在、そして未来に向けて、我々の生活に身近なものからスケールの大きなものまで、さまざまなテーマに沿って10名の講師によって講義が行われました。私が担当したのは昨年度に引き続き、「海洋プラスチックごみ対策」についてでした。

プラスチックごみが環境に及ぼす問題については課題解決に向けて世界中で議論が進められていますが、それぞれの国・地域によって事情が異なることから簡単に取組への合意に至らないのが現状です。また、近年はマイクロプラスチックなどの微細なプラスチックごみが人体に及ぼす影響についても盛んに研究が行われており、新聞やインターネットを通じて、様々な新しい情報が発信されていることから、本講義ではプラスチックごみ問題に関する世界の潮流から、日本国内の状況、そして富山市での取組などについて概説しました。

海外の方たちからは、富山はごみが少なくとてもきれいな街だと言われます。しかし、海岸では多くのごみが漂着し、環境省によるとそのごみの8割が陸域で発生しているとの調査結果があります。市では河川にオイルフェンスを張り、回収されたごみの分析を行っていますが、多くのごみは我々大人が意図的に投棄したごみであり、一部は管理不足から河川に流出したものと推測しています。

受講者の皆様にはこのような実態を知っていただき、海洋ごみ問題を自分ごととして捉え、また、周囲の家族や知人等に実態を伝え広げていただき、少しでも海洋ごみの削減に繋がればと思っています。
(小林 慶一)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・22(木)	海洋プラスチックごみ対策 —未来のためにできること—	市環境政策課 課長代理 小林 慶一
2	6・5(木)	変化する気候の中での日本海・富山湾の海洋環境	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 田口 文明
3	6・19(木)	レッドリストとブルーリスト —富山県の絶滅危惧植物と外来植物—	富山県中央植物園 園長 中田 政司
4	7・3(木)	ゼロカーボンシティ政策でつなぐ未来	市環境政策課 係長 前澤 直人
5	7・17(木)	化石から探る地球環境の変遷 —過去・現在・未来—	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 佐野 晋一
6	8・28(木)	イタイイタイ病から学ぶ土の大切さ	富山大学学術研究部理学系 准教授 蒲池 浩之
7	9・11(木)	変化する野生動物の分布と生態 —クマと共存していくには—	富山県立山カルデラ砂防博物館 主任学芸員 白石 俊明
8	9・25(木)	富山の気候と地球温暖化	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 安永 数明
9	10・9(木)	常願寺川の治水と砂防	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸員 是松 慧美
10	10・23(木)	富山の雪氷環境	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 杉浦幸之助

102 富山のまち –持続可能なまちづくり–

富山市には「立山あおぐ特等席」というキャッチフレーズがあります。3000 m級の山々が四季折々に見せる豊かな表情を楽しむことができます。立山に降り積もる雪は、豊かな水をもたらし、まちの暮らしを支えています。その一方で、急峻な山々から流れ出す河川は、洪水や土砂災害といった自然災害を引き起こしました。そこで先人は治水に取り組み安定したまちづくりを進めてきました。しかし、第2次世界大戦末の空襲では、市街地の98%が焼失しました。それを乗り越え、復興を果たしたことで、現在の富山のまちが形づくられています。

戦災復興を契機に整備された直線的で広い道路により市街地は拡大しましたが、その結果、県庁所在地の中で最も人口密度の低い都市となりました。この課題に対応するために富山市は「コンパクトなまちづくり」を掲げ、持続可能な都市への転換を進めています。具体的には、LRTの導入や富山駅の南北接続による公共交通の充実、グランドプラザを中心とした市街地の賑わい創出、さらにはまちなか居住の推進など、多様な取り組みを展開してきました。

これらの取り組みによって富山のまちはどのように変化したのか。ぜひ、ご自身のまちでの体験も交えながら考えていただければ幸いです。

(大西 宏治)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・16(金)	地域の未来を創造する –まちづくり会社の可能性と役割–	株式会社富山市民プラザ 代表取締役社長 京田 憲明
2	5・30(金)	シン・コンパクトシティ戦略 –データを活用した『まちの見える化』事業–	市まちづくり推進課 主幹 佐伯 哲弥
3	6・13(金)	地図から考える富山のまちの過去と現在	富山大学学術研究部教育学系 教授 山根 拓
4	7・18(金)	富山の交通 –並行在来線を中心に–	富山高等専門学校国際ビジネス学科 教授・学科長 岡本 勝規
5	8・1(金)	富山の港湾と貿易 –中古車輸出を中心に–	
6	9・5(金)	公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり ~コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築~ 富山市のスマートシティ政策について	市都市計画課 課長代理 黒崎 智治 市スマートシティ推進課 課長代理 城石 裕幸
7	9・19(金)	富山の商業環境	富山大学学術研究部人文科学系 教授 大西 宏治
8	10・3(金)	【現地学習】 中心市街地の見学–総曲輪・西町・中央通り編–	
9	10・24(金)	【現地学習】 中心市街地の見学–富山駅とその周辺–	
10	11・7(金)	富山の農林水産業と食	

103 立山黒部ジオパークを知る

めぐり（物質移動）

富山市の足元、この大地のいとなみを感じていただければと、講座を担当しました。

富山市には、薬、ますずしの他に、コンパクトシティ、ものづくりの高い技術など、たくさんの魅力があります。市民にとってあたり前な、きれいな水と空気、おいしい食べ物も世界からすると、とても貴重なものかもしれません。

常願寺川の水を例にとれば、はじめは、暖かい日本海から蒸発する水蒸気です。水蒸気をたっぷり吸収した大気が、立山連峰にそって上昇すると温度が下がり、水蒸気が雪や雨になり、地表に降ります。これは、日本海の水分を立山連峰の頂へとポンプアップする、ありがたい仕組みです。

では、その立山連峰はどうやって、そこにあるのか？ 隆起を続けていたら、どんどん高くなりそうなものですが、降った水が山を削り、削る量と隆起する量が釣り合うと山の高さが安定します。地球の体積が一定だとすると、立山連峰が隆起すれば、地球のどこかがへこむでしょう。地球の中では、へこむ場所から隆起する場所へ、ものが移動することになります。このように、いろいろな物質移動、めぐりがあります。

散歩でみかける小川の流れも、このような大きなしかけによって保たれているとすれば、ちょっと愛おしくなりませんか？

（國香 正稔）

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・21（水）	ジオパークって何？ －立山黒部ジオパークの概要－	立山黒部ジオパーク協会 事務局長 今堀 喜一
2	6・4（水）	立山の自然と信仰 －立山曼荼羅の図像から－	富山県 [立山博物館] 館長 高野 靖彦
3	6・11（水）	最終氷期から現在までの立山の自然史	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 福井幸太郎
4	6・25（水）	小さな凸凹から見えるジオパーク	黒部市吉田科学館 アドバイザー 國香 正稔
5	7・23（水）	地震がつくる富山の風土	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 丹保 俊哉
6	9・10（水）	ジオがあつての蜃気楼	魚津埋没林博物館 主任学芸員 佐藤 真樹
7	9・24（水）	富山の化石：楽しみ方から保全まで	富山市科学博物館 学芸員 吉岡 翼
8	10・8（水）	富山平野のジオヒストリー：海と山の攻防	立山黒部ジオパーク協会 学術顧問 竹内 章
9	10・22（水）	立山黒部ジオパークのスギと時空間	魚津埋没林博物館 館長 石須 秀知
10	11・5（水）	立山における火山観測	富山大学学術研究部都市デザイン 学系 助教 堀田 耕平

104 郷土の歴史

今回の講座では、「富山の民俗」と題して、富山の民俗と全国の民俗を比較、また身近な民俗を紹介することで、民俗学という学問を身近に感じ、興味をもっていただくことをねらいとしました。

講座のはじめは、「民俗学」はどういう学問であるか知っていただくために、民俗学の成り立ちやどのような学問的特徴があるかを紹介しました。

次に、身近な例で民俗学に触れていただくために「俗信」「住居」「お正月」の3つの例を紹介しました。俗信では、「兆（予兆）・占（占い）・禁（禁忌）・呪（まじない）」を取り上げ「ツバメが低く飛ぶと雨が降る（予兆）」「夜に口笛を吹いてはいけない（禁忌）」といった多くの人が聞いたことのある俗信の例を紹介しました。「住居」では、富山市内から移築された民俗民芸村の民俗資料館・民芸合掌館・陶芸館の写真を用いて紹介をしました。特に、陶芸館のアズマダチや内部のワクノウチヅクリ、民俗資料館のウグイス造りなど、特徴的な造りは皆様興味をもって写真を見ておられました。

最後に「お正月」では、富山のお雑煮をはじめとして全国のお雑煮を比較したり、天神様の掛け軸を飾るという独特の風習をもつ富山と福井の実例を比較し紹介しました。

今回の講座では、身近な民俗学をテーマに取り上げたこともあり、特に俗信を紹介した際には、大きなうなぎや周囲の方との「知ってる」「言ってた」などのコミュニケーションを交えながら和やかな雰囲気の中で講座を終えることができました。（橋本 七海）

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・22（木）	おわら保存会の設立と川崎順二の功績	富山県民謡越中八尾おわら保存会 資料編纂部長 嘉藤 稔
2	6・5（木）	江戸の浮世絵と富山の浮世絵	市民俗民芸村 民芸館 館長 坂森 幹浩
3	6・19（木）	富山産業大博覧会からチンドンコンクールへ	市郷土博物館 畑奈 津子
4	7・3（木）	富山の民俗	市民俗民芸村 学芸員 橋本 七海
5	7・17（木）	山野河海の越中古代史	越中史壇会 副会長 城岡 朋洋
6	8・28（木）	大正期の富山市	市教育委員会生涯学習課 副主幹 尾島 志保
7	9・11（木）	富山藩であった災害 －関所番人橋本家文書を読み解く－	猪谷関所館 前館長 舟杉 克巳
8	9・25（木）	翁久允と富山 －太平洋戦争下の『高志人』－	富山大学学術研究部教養教育学系 准教授 水野真理子
9	10・9（木）	富山のまつり	とやまふるさとの会 顧問 五十嵐 清
10	10・30（木）	世界一の木造橋「愛本刎橋（あいもとはねばし）」 －不可能を可能にした”英知の結晶”－	専門学校職藝学院 学院長・教授 上野 幸夫

105 村（ムラ）と町の考古学

市埋蔵文化財センターでは、これまでに数多くの発掘調査を行ってきました。これらの調査でよく確認されるのは建物や井戸、溝の跡などで、その場所には、現在目にはすることはできませんが、当時、村（ムラ）や町が存在していたことが明らかになっています。そこで、今年度は、これまでに蓄積してきた縄文時代から明治時代までの主に富山の村（ムラ）や町の様子を紹介することにしました。

私がテーマとしたのは「古代の村と役所」です。時期は奈良～平安時代にあたり、その頃、富山県は越中国と呼ばれていました。平城京や平安京などに都が置かれ、地方支配が進んだ時期でした。高岡市の伏木地区に国府が設置され、越中国に置かれた4郡には郡の役所（郡家）、その下には郷がありました。また、役所とは違う集落も存在していました。これらがつながりながら歴史がつけられていきました。残念ながら、越中国では郡家や郷の場所ははっきりしたことがわかっていません。受講者の方からは、古代の役所などについてももう少し詳しく知りたいとの声があり、意欲的に受講されている姿が垣間見えました。

最後になりますが、今年度は久しぶりに現地学習を行いました。城址公園や城下町を歩き富山城の石垣の様子や発掘調査の成果などを現地で解説しました。座学だけでなく、外に飛び出して実物などに触れることによって、富山の歴史がより身近に感じられたと思います。このようなことが、受講者の皆さまの学びの一助になれば幸いです。（堀沢 祐一）

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・9（金）	富山の丘陵の縄文ムラ	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 近藤 顕子
2	5・23（金）	富山平野の縄文ムラ	市埋蔵文化財センター 学芸員 納屋内高史
3	6・6（金）	弥生低地のムラと高所のムラ	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 細辻 嘉門
4	6・20（金）	富山平野の集落と古墳	市埋蔵文化財センター 専門学芸員 野垣 好史
5	7・4（金）	古代の村と役所	市埋蔵文化財センター 所長 堀沢 祐一
6	8・22（金）	中世前期（鎌倉～室町期）の村	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 堀内 大介
7	9・5（金）	中世城館と村・町の様相	市埋蔵文化財センター 主任学芸員 宮田 康之
8	9・19（金）	近世富山城下町と江戸富山藩邸	市民俗民芸村管理センター 主幹学芸員 鹿島 昌也
9	10・3（金）	近世富山町から近代富山市へ	市郷土博物館 学芸員 泉田 侑希
10	10・10（金）	【現地学習】 富山城・城下町を歩く	市埋蔵文化財センター 専門学芸員 野垣 好史 市郷土博物館 学芸員 泉田 侑希

106 日本の歴史

「日本の歴史」コースの第8回を担当し、「戦国～江戸時代の村と百姓」と題して講義を行った。学習題のとおり、戦国～江戸時代における、村や百姓のいくつかの側面を整理して紹介した。ただし、単に当時の様子を知ること、知識を得るにとどまらないことを講義のねらいとした。村や百姓という、歴史の中では地味な存在であるかもしれない。時代劇で主役になることも少ないであろう。しかしながら、江戸時代の人口の約8割は百姓身分で構成されていたようであるし、現代日本において、共同体やコミュニティを考える際に、その原点となるのは、江戸時代の村（さらにはその前提たる中世の惣村）だと思われる。すなわち、日本社会に生きる私たちが、自分たちの来た道について考える上で、村やそこに住んだ百姓たちの歴史を除くことは難しいのである。歴史は、今に生きる自分とは遠いものとして眺めるだけではなく、自分が生きることとのつながりを見出すことで、その人にとって一層、意義深いものになってくるであろう。

といった大上段なねらいもある程度、含みつつ、話を進めたわけであるが、拙いところも多く、羊頭狗肉の感も否めなかったかもしれない。受講者各位には、そうした話をご清聴いただき、あらためて感謝申し上げます。さまざま能書きも垂れましたが、何よりも歴史に興味を持っていただくことが大切です。村や百姓の歴史も、よくみると味わいがありますよ、と述べて擱筆したい。

(中村 只吾)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・14(水)	卑弥呼の時代① 「魏志倭人伝」を読む	敬和学園大学人文社会科学研究所 客員研究員 藤田 富士夫
2	5・28(水)	卑弥呼の時代② 考古学から探る邪馬台国	
3	6・25(水)	氷見白ヶ峰と能越の戦い	とやま歴史的環境づくり研究会 代表 高岡 徹
4	7・9(水)	太平洋戦争下の造船所と艦船建造	
5	8・6(水)	足利義教の専制政治	金沢学院大学文学部 教授 本多 俊彦
6	8・27(水)	江戸時代の旅行とその文化	富山県〔立山博物館〕 館長 高野 靖彦
7	9・10(水)	足利尊氏と直義	富山県公文書館 史料調査専門員 高森 邦男
8	9・24(水)	戦国～江戸時代の村と百姓	富山大学学術研究部教育学系 准教授 中村 只吾
9	10・8(水)	明治維新と越中	富山近代史研究会 会長 城岡 朋洋
10	10・29(水)	交通運輸の近代化	

107 世界の歴史

本年度のテーマは「変わっていく世界」とした。歴史学には「変化」を捉える方法論と「常態」を捉える方法論とがある。筆者の専門研究自体は後者の傾向にあるのだが、今回の講義では特に社会や世界の変化とその前後の違いを強調するつもりで授業を進めた。毎年のことながら「世界」の歴史をなんとかイメージしてもらいたいと考えて、つい中身を欲張ってしまう。「補論」として別途読んでもらう資料もつけながら、なんとか古代から21世紀初頭まで話をつなげていくことができた。

この講義の受講者には年配の方が多いため、半世紀以上にわたる時代の変化を実感してきた方が少なくなろう。今年度は10回目の授業で（やや端折りながらも）戦後世界の変化について講じることができた。この20世紀という時代は人類史上、最も目まぐるしく変化した時代だが、もちろん変化は20世紀だけではない。この数千年間、世界の各地で、そして全地球的に人類の社会は変化してきた。たとえ良い方向を目指そうと望んでも、変化しつつある時代の当事者に、未来は見えない。結果のよし悪しは後世になって判断されるのであり、歴史の解釈はいわば後知恵なのである。

そうした後知恵で過去を振り返る歴史学の視点で見た時、今の世界がどこへ向かうのか、いかにも危うさを感じる。その危機感は年々強くなる一方だ。近年の社会や世界情勢を見ると、1929年に『大衆の反逆』を著したスペインの哲学者オルテガ・イ・ガセットの議論を思わざるを得ない。外国人に人権はないと平気で公言する政治家が出てくるような世界で、人々が「自分達」の権利と利得の追求に汲々とし、他者を顧みようとしなくなった時、何が起こるだろう。敢えて暗い展望も語って終えた今回の講義だった。

（徳橋 曜）

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・12（月）	「古代」から「中世」へ	富山大学学術研究部教育学系 教授 徳橋 曜
2	5・26（月）	キリスト教とイスラーム	
3	6・9（月）	イスラーム世界の展開	
4	6・23（月）	中世ヨーロッパ世界とユーラシアの東西	
5	7・7（月）	16世紀の世界：世界の一体化へ	
6	9・8（月）	17～18世紀のヨーロッパと世界	
7	9・29（月）	市民革命と新しい社会概念	
8	10・6（月）	19世紀の世界：ナショナリズムの定着と拡散	
9	10・27（月）	二つの世界大戦	
10	11・10（月）	戦後世界の迷走	

108 中国史に学ぶ

唐末五代という時代 – 中華世界の変容 –

唐末五代とは、ふつう安史の乱から宋の成立にいたる約 200 年間をさしますが、実際には 9 世紀初めの「元和偃武」が挫折してから、宋が 10 世紀末に天下を統一するまでの 160 余年がこれにあたりと見るべきでしょう。日本でいえば、空海が東寺を開いた頃から源信が『往生要集』を著すまでの時期にあたります。むろん、この時代は遣唐使が廃止され日中間の正式な国交が途絶えていたため、中華世界の動向が日本に直接波及することこそありませんでしたが、その文化的影響は多岐にわたるだけでなく、現在にいたる中国社会のあり方を規定したという点では看過できない時代でもあります。こうした観点から、今回の講義では唐の滅亡と宋の成立が意味する中華世界の変容について縷々お話をしましたが、これが中国や日本の歴史や文化を考えるうえで皆さんの新たな視座となることができればと祈念しています。

(徳永 洋介)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・15(木)	皇帝と宦官 －専制政治の新たなかたち－	富山大学学術研究部人文科学系 教授 徳永 洋介
2	5・29(木)	宰相李徳裕の時代 －唐朝最後の栄光－	
3	6・12(木)	武宗と会昌の廃仏 －世界帝国の終焉－	
4	6・26(木)	黄巢の乱 ー唐朝の崩壊ー	
5	7・10(木)	契丹と党項 ー小中華の叢生ー	
6	9・4(木)	後梁と後唐 ー沙陀突厥の勃興ー	
7	10・2(木)	莊宗と明宗 －軍閥統合と禁軍の成立－	
8	10・16(木)	契丹の衝撃 ー中華世界再編の試みー	
9	10・23(木)	後周世宗の登場 －五代十国時代の黄昏－	
10	11・13(木)	宋と遼 ー複数の中華世界ー	

109 食と住の文化史

食と住は、今も昔も人が生きていく上で欠かすことのできない、生活の基盤となるものです。本年も多彩な講師陣から、多様な視点からの講義が行われました。

食の分野においては、富山県は多様な海・山の幸に恵まれ、古くから伝統的な調理法・技術が存在するほか、独特の食文化が根付いています。2013年に和食がユネスコ無形文化遺産に登録されたように、富山県の食文化も「文化財」として次の世代に引き継いでいく必要があります。よって一般的な食文化についての内容だけでなく、富山県独自の食文化についても各講義では解説がなされました。また食材の確保の面については狩猟、食の振る舞いの面では藩の奉行へのもてなし料理を素材に講義が行われました。狩猟に関しては、江戸時代には鳥猟が非常に盛んに行われていたこと、豊臣秀吉の刀狩によって村の鉄砲はすべて召し上げになっていたと思われがちですが、じつは農具・猟具として鉄砲は農村に多く存在し、猪の追い払いや鳥・熊などの狩猟に利用されていたことが語られました。

住の分野においては、富山の伝統的な古民家についての講義があったほか、住居の歴史的な変遷についてふれるもの、また能登半島地震が石川県で発生したこともあり、能登の住まいがどのようなものだったのか、などこれまでにない視点からの講義が実施されました。

受講者の皆さんも、熱心かつ時に笑いながら受講をしてくださっており、今後も本コースを通じて学びの楽しさを味わっていただければと思います。

(安藤 竜)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・15(木)	食の文化論Ⅴ -共食とは-	越中史壇会 会長 木本 秀樹
2	5・29(木)	加賀藩領における山の猟師と食	兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学 助教 安藤 竜
3	6・12(木)	住の文化論Ⅳ	レトロフィット代表 早稲田大学理工総研研究員
4	6・26(木)	住の文化論Ⅴ	森本 英裕
5	7・10(木)	「文化財」としての食	越中史壇会 会長 木本 秀樹
6	9・4(木)	食べものづくり -食べてきたモノ-	市郷土博物館 主幹学芸員 中本 八穂
7	9・18(木)	郡奉行へのおもてなし -富山藩領野積谷での事例-	日本海文化悠学会 会員 五十嵐俊子
8	10・2(木)	富山市の古民家	市教育委員会生涯学習課 副主幹 尾島 志保
9	10・16(木)	くらしから変わる住まいⅢ -こんな生活アレコレ-	市郷土博物館 主幹学芸員 中本 八穂
10	10・30(木)	能登の住まいと能登半島地震	金沢工業大学建築学科 教授 山崎 幹泰

110 歴史史料をひもとく

本コースは古代から中世、近世・近代と時系列に歴史史料を挙げて時代相を「^{ひもと}繙く」(解明する)ことを目的としています。本年度は、学習題『歴史史料にふれる』で文献資料の根本たる「墨」をテーマに、古代から今日に至るその種類や製作の事例を解説しました。

さらに既存の歴史学研究を読み直し、新たな視点を提示するうえで「女性」を共通テーマに、「古代女性天皇」「鎌倉時代の女性」「戦後80年銃後の暮らし」について取り上げました。同テーマは主に1980年代から着実な歩みをみてきましたが、僅かな史料の中からこれまでにない観点を示していきたいと考えてのものです。

また共通学習題『能登をよむ』は半島地震以降、能登と他地域との関係性を改めて見つめなおす機会になればとの想いで設けました。本来、「半島」のもつ性格は、地理的に「本土」と「島」との中間に位置しますが、一方において交通史や経済史の視点から、両者とは異なる広範な歴史像をかいま見することもできます。

以上、本コースそのものは地味な足取りかもしれませんが、私たち講師の役割は史資料を“落穂ひろい”のつもりです。すくいあげ、受講生の皆さんに語りかけていくことを考えています。なお、講座終了後の質問や雑談からも楽しいひとときをいただきました。こうした延長上にこそ、生涯学習のもつ「人づくり」「つながりづくり」に連なる糸口があるのではと…。これからも皆さんのご参加をお待ちしています。

(木本秀樹)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・19(月)	近代史料をよむ -戦後80年 銃後の暮らし-	富山県公文書館 史料調査専門員 認証アーキビスト 榮 夏代
2	6・2(月)	近世史料をよむ -村のお弔い-	
3	6・16(月)	能登をよむ -越中・能登 行き交う人との-	
4	6・30(月)	中世史料をよむ -鎌倉時代の女性-	市民俗民芸村 学芸員 兼子 心
5	7・14(月)	中世史料をよむ -武士・諸職の衣-	
6	7・28(月)	能登をよむ -平氏・守護の支配と産業-	
7	8・18(月)	古代史料をよむ -史料にみる女性から-	越中史壇会長 木簡学会員 木本 秀樹
8	9・1(月)	歴史史料にふれる -古代の文房具「墨」-	高志の国文学館 副主幹(学芸員) 大川原竜一
9	9・29(月)	古代史料をよむ -暮らしと生業から-	越中史壇会長 木簡学会員 木本 秀樹
10	10・27(月)	能登をよむ -半島としてのノト-	

111 おくのほそ道をよむ

春に江戸を立ち、夏のみちのくを回り、秋の北陸路を辿りつつ、敦賀の湊に月を眺めるまでの道程を、芭蕉が歩んだ通りの日程とはいきませんが、教室の講義でも季節を重ねるように追いかけてきました。

現代では、自動車や新幹線を使えば、移動時間は飛躍的に短縮できますし、旅先の情報もスマホを手にとれば、地図や近隣の案内まで、すぐに検索できます。また天候の変化や夜の闇に悩まされることもありません。芭蕉の歩いたルートを現実に追いかけて、「おくのほそ道」を手にとり、作品世界の舞台に触れ、時の経過がもたらすその変貌ぶりに心驚かすことも楽しいことです。

一方、教室という空間において、想像力を働かし、背景にある物語をひもときながら、芭蕉が綴った言葉を、皆さんと共有できるとすれば、そこにも古典を読む面白みがあります。

芭蕉にとって、旅は、トラブルなく名所旧跡を巡り、やがて自分の住処に無事帰ることだけが目的ではなかったようです。私たちにも、さまざま耳目に触れるものごとへの感慨や、諸縁あつて触れ合う人々との出会いと別れがあります。その営みそのものが「日々旅にして、旅を栖すみかとす」ということなのでしょう。

(高熊 哲也)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・21(水)	俳諧と芭蕉	富山高等専門学校 名誉教授 高熊 哲也
2	6・4(水)	序章 草の戸も住替る代ぞひなの家 旅立 行春や鳥啼魚の目は泪	
3	6・18(水)	日光 あらたうと青葉若葉の日の光 白川の関 卯の花をかざしに関の晴着かな(曾良)	
4	7・2(水)	平泉 夏草や兵どもが夢の跡 卯の花に兼房みゆる白毛かな(曾良) 五月雨の降り残してや光堂	
5	7・16(水)	立石寺 閑さや岩にしみ入蝉の声 最上川 五月雨をあつめて早し最上川	
6	9・3(水)	象潟 象潟や雨に西施がねぶの花	
7	9・10(水)	一(市)振 一家に遊女もねたり萩と月	
8	9・24(水)	那古の浦 わせの香や分入右は有磯海 金沢 塚も動け我泣声は秋の風	
9	10・8(水)	小松 むざんやな甲の下のきりぎりす 那谷 石山の石より白し秋の風 山中 山中や菊はたおらぬ湯の匂	
10	10・29(水)	大垣 蛤のふたみにわかれ行秋ぞ	

112 漢詩漢文の世界へ

李白の「白髪三千丈 愁ひに縁りて箇の似く長し」の詩句は単純な誇張表現ではなく長い年月に亘る失意と憂愁の思いが込められ、杜甫の「百年多病 独り台に登る 艱難苦 だ恨む 繁霜の鬢」には生涯、病いと不連続きの嘆きがあります。この二大詩人の老境に至っての心境に老いを迎える者の普遍的な悲哀が漂っています。しかし「人生に対する悲哀は感じてはいるが、決して人生に悲観しているわけではない」という確信が見えます。

「盛年 重ねては来たらず 時に及びて当に勉励すべし 歲月人を待たず」の詩句の、しかるべき時に時機を逃さず、貴重な人生の一刻一刻を充実した時間として、見過ごしてはならぬとする陶淵明には「人間の生は路上の塵のごとし」とする感慨からの表白があります。これらの詩人たちには、人間の生命に対する深い悲哀の中にあっても、目に入るもの、耳に聞こえるものなどの周囲からの雑駁に対して、情感に流されることなく、意志の力で老残の身を振りしぼって、生きようとする気力を感じさせられます。

ここには「人間は何をなすべきか」「人間は何を望んだらよいか」「人間は何を知ることができるか」、つまり「人間とは何か」という問いかけがあります。ことに生殺与奪の時代に生きた古人たちの何気ないことばの真意を、ただ「知識とする」のではなく、自分の生き方、考え方に照らして、わが身のこととして捉えて「知恵とする」ことの賢い「読み」が大切でしょう。

簡潔明快に展開される漢詩の世界を楽しみ、よき知恵としましょう。(第3回4回の講義から)

(高倉 知成)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・9(金)	I 漢文の読み方・句法	県立富山高等学校 元副校長 高倉 知成
2	5・23(金)	II 漢詩(1) 自然・四季	
3	6・6(金)	II 漢詩(2) 旅情・憂愁	
4	6・20(金)	II 漢詩(3) 自適・悲壮	
5	7・11(金)	II 漢詩(4) 日本の漢詩	
6	8・29(金)	III 語録・名言	
7	9・12(金)	IV 故事・寓話	
8	9・26(金)	V 思想(1) 諸子百家	
9	10・10(金)	V 思想(2) 論語	
10	10・17(金)	V 思想(3) 論語	

113 古文入門

令和7年度の「古文入門」は、平安文学史の概要の解説から入りました。次に関白を務めたものの、病により「七日関白」と言われた藤原道長の兄・道兼の次女の数奇な運命をたどり、上流貴族といえども、後見である父親が亡くなれば出仕することさえあるという厳しい姿から、宮中に仕えた女房のさまざまな出自と仕事の内容を見て行きました。

また平安時代を代表する歴史物語「栄花物語」と「大鏡」。その表現と内容の違いを比べ、一条帝以降の帝や皇子の人柄と、藤原道長の権力掌握への壮大な道のりをたどりました。さらに、道長のやや強引ともいえる手法により悲哀のうちに人生を終えた左大臣藤原顕光父子の嘆き、権力掌握後の晩年の道長の深い悲しみに触れ、読みを深めました。

講義の後半は「源氏物語」の須磨・明石の巻の物語の中の位置づけ、「貴種流離譚」の典型的な例ともいえる各巻と、そこに至る経緯と過程を読みました。自制の利かない若き源氏が犯す過ち、さらに都を離れるにあたって「紫の上」に全幅の信頼をおいている姿、父の右大臣や弘徽殿の太后に逆らえない弱々しい朱雀帝（源氏の異母兄）が、要所で「物語を動かす存在」として重要な場面で顔を出し、物語の後半が巧みに展開されていくこと等々、「源氏物語」の魅力の一端をたどりました。受講生の皆様の熱心な学びの姿勢により、回が進むごとに私も力が入り、良い講座になったと考えております。

(沢井 友義)

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・13（火）	平安文学入門・主な作品と舞台	富山短期大学 非常勤講師 沢井 友義
2	5・27（火）	説話にみえる平安貴族の振舞い	
3	6・10（火）	藤原氏 栄華への壮大な道 大鏡1	
4	6・24（火）	藤原氏 栄華への壮大な道 大鏡2	
5	7・8（火）	前期のまとめ	
6	9・2（火）	源氏にとって「藤壺」とは 源氏物語1	
7	9・16（火）	「須磨・明石」が物語に与えるもの 源氏物語2	
8	10・7（火）	「須磨・明石」が物語に与えるもの 源氏物語3	
9	10・21（火）	「藤壺」亡き後を生きる源氏 源氏物語4	
10	11・4（火）	全体のまとめ	

114 江戸時代の文学を読む

今年度の大河ドラマでは、江戸時代（近世）の本屋さんが取り上げられました。江戸時代の文化、出版や書物、小説や文芸に関心をもった方もあったことでしょう。講座を通し、できるだけいろいろな作品に実際に触れたいと考えていますが、せっかく近世寄りの1年であったのだからと思い、最後に蔦重版の黄表紙も取り上げました。ドラマでご覧になった方にとっては、自分で実際に確認する機会になったのでしょうか。黄表紙こそが近世文学、というよりその一部、であることは言うまでもありませんが、「名前は知っているけれども読んだことのない作品を実際に読んだ」という時間になっていたらよいと思います。

読んで楽しいのが一番ですが、そもそも、「楽しい」って何？ どういうこと？ ということから考えてみてもいいかもしれません。読むことは、「ああおもしろかった」であり、同時に「ああおもしろかった、だけではない」行為です。すっきりしたりもやもやしたり（作品にも自分にも）するからいいんじゃないか、と私は思っています。

行ったり来たりしながら、また読んでいきましょう。

（奥野 美友紀）

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・21（水）	はじめに —— 近世（江戸時代）の文学 ——	富山県立大学 非常勤講師 奥野美友紀
2	6・11（水）	浮世草子（1） 井原西鶴『日本永代蔵』	
3	6・18（水）	浮世草子（2） 井原西鶴『本朝二十不孝』	
4	7・2（水）	読本（1） 上田秋成『雨月物語』（1）	
5	7・16（水）	読本（2） 上田秋成『雨月物語』（2）	
6	9・3（水）	映像で観る近世文学	
7	9・17（水）	俳諧 座の文芸	
8	9・24（水）	江戸時代の古典研究	
9	10・8（水）	滑稽本（1） 式亭三馬『浮世風呂』（1）	
10	10・29（水）	滑稽本（2） 式亭三馬『浮世風呂』（2）	

115 くらしを彩る短歌の楽しみ

共感が広がる短歌の楽しみ

多くの方々のご参加になり、ともに楽しく発見の多いセミナーとなりました。心から感謝いたします。

好きな作品や創作作品を持ちより、共感シートや会話を通じて共感しあい、それぞれ向上を図ることができたことをうれしく思っております。最終回には参加者の作品集を印刷して各自が手にいたしました。

また、猛暑の8月にオンラインでの課外セミナーを試み、初めて利用する方もご自宅から参加でき好評でした。

短歌は、誰もが詠むことができる表現の自由な詩です。読み手によって完成することが世界で理解されてきました。今や世界各国に外国語タンカの詠み手がいて、時代をともに生きる共感をつなぐことができます。

今後とも、初めての方にもご参加いただき、短歌の輪を広げることができればと思っております。

最後になりますが、コース委員を中心に参加者全員から運営にご協力いただきました。心から感謝いたします。 (木下 晶)

争議生相互による推し・共感作品

天位 立ち、ぎの少女は坂を越えて行くひたすらにどこどこかに着くまで	域下由美子
地位 老いて得し心の冴えかすずしろの私の中の素直に出会う	秋村トミ子
人位 ペラントを越えて陽の足さらに伸び室内を訪ふ秋つげるため	小池千鶴
いつからか浜辺の小石、ここに在る流れ流れて分かれ別れて	酒井紀子

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・23(金)	・短歌づくりのコツ再発見 ・楽しく詠んで楽しく共感!	WEBサイトとやまの詩歌 主掌 木下 晶
2	6・6(金)	・春の事物や想いを詠む ・現代短歌に禁止事項なし?	
3	6・20(金)	・早わかり「歌会始め」 ・はたらく初句・三句・結句	
4	7・4(金)	・初夏の事物や想いを詠む ・足したり引いたり推敲あれこれ	
5	7・18(金)	・夏の事物と想いを詠む ・前期のまとめ	
6	9・12(金)	・祭りの周辺と想いを詠む ・句切れ・句またがり自由自在	
7	9・26(金)	・旅の景色と想いを詠む ・ぐるぐる ひそひそ オノマトペあれこれ	
8	10・10(金)	・秋の事物と想いを詠む ・読み手まかせ?の体言止め	
9	10・24(金)	・通期の作品まとめと推敲 ・選んでみます私の三首	
10	11・7(金)	・作品集づくり、 ・選歌と表彰、共感をともに	

116 俳句入門

2025年は、私が所属する俳誌「草樹」（草樹俳句会）の創刊20周年でした。2019年に文化功労者の選定を受けた宇多喜代子氏を中心に、俳句の愛好者が全国から集まっています。私が市民大学の受講者に毎年話している「私も受講者の皆さんも『俳句の前』では平等」という考え方は、「草樹俳句会」のモットー「会員みな平等」と符合しています。文化功労者ではありますが、俳句会内では宇多喜代子氏に「先生」を付けることはありません。うっかり付けると叱られてしまいます。

高名な俳人や先達は、長年俳句を学び常に自分の俳句について考えています。一方で私は、俳句を作る人は皆一人の俳人だと心得ています。俳句に携わる期間や作品の完成度は異なりますが、俳句を作るという点では一人一人がれっきとした俳人だと思うのです。

たいへん熱心に学んでいただいた受講者の皆さんに、今年も感謝します。毎回の投句はもとより、句会における司会や披講などの役割を立派に果たし、全員で素晴らしい講座を作り上げました。作品に対する新鮮な感想、的を射た意見や質問で、私も大いに勉強させてもらいました。受講者の皆さんには、これからも一人の俳人として俳句に親しみ学んでいてもらいたいと思います。

（森川 敬三）

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・14（水）	今年度の方針と流れ 私の俳句観俳句の基礎・基本 句会の心得	富山県俳句連盟 幹事 森川 敬三
2	6・4（水）	句会（1） 当季雑詠 俳句の歴史	
3	7・9（水）	句会（2） 当季雑詠 季語とその本意・本情	
4	7・30（水）	句会（3） 当季雑詠 五・七・五と無理のない字余り・字足らず	
5	8・20（水）	句会（4） 当季雑詠 切れの在り処と切れの効用 推敲の仕方	
6	9・10（水）	句会（5） 当季雑詠 俳句の読解・鑑賞と評価 兼題句の作り方	
7	10・1（水）	句会（6） 当季雑詠（内1句は兼題句） 作句のコツ 吟行のコツ	
8	10・15（水）	会場近傍の吟行 句会（7）（吟行句会）	
9	10・22（水）	句会（8） 当季雑詠（内1句は兼題句） 俳句の種類・自分に合った俳句	
10	11・5（水）	句会（9） 当季雑詠（内1句は兼題句） 学び続けるために	

117 川柳を楽しむ

川柳を詠むというのはいかがでしたか？

講座の中には新人さんもベテランさんもほかの文芸を並行してやっておられる方もいらっしゃいましたが、課題に向き合い、投句用紙を前にしたら、みんな同じスタートラインのスタートでした。

例えば「犬」という題をみたら、何を思うか。保護犬を拾って帰ってきて親にダメと言われて泣いた記憶。可愛がっていたのに、亡くなってしまった寂しさ。

雨の中、トボトボ歩く犬の姿に自分を重ね合わせたサラリーマンの日々。

そんな感情をいかに五七五の言葉に落とし込むか。

川柳はそんな人間の感情の記録なのかもしれません。

「紙と鉛筆があれば作れます」、と私たちはお勧めします。

今の時代ならば、スマホの未送信メールで記録しましょう、と言うかもしれません。

そうして句ができたなら、ノートにまとめてください。

それは立派な作品集であり、自信をもって自分史ですと言えるでしょう。

一緒に過ごした楽しい時間をありがとうございました。

人生を記す五七五の森に

いそこ

(竹内 勤子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・12(月)	川柳の基本形/川柳の歴史/音の数え方・投句の仕方	川柳えんぴつ誌 編集長 カラット代表 竹内 勤子
2	5・26(月)	古川柳と今の川柳/まずは作ってみよう/ 川柳をどう鑑賞するか	
3	6・9(月)	課題を詠む/テーマの考え方/言葉の選び方	
4	6・23(月)	富山の川柳作家/助詞の選び方/みんなの作品鑑賞	
5	7・7(月)	課題吟と自由吟/伝統川柳と現代川柳	
6	8・25(月)	印象吟について/席題に挑戦	
7	9・8(月)	過去の大会作品から/作品を鑑賞してみる	
8	10・6(月)	感性をみがく/一句鑑賞	
9	10・20(月)	時事川柳を鑑賞する/今年のニュースから詠む	
10	11・10(月)	今年の川柳大会作品/まとめ	

118 文学へのいざない

今年はサマセット・モームを3回やり、アンドレ・ジッドと合わせると外国文学が多い年になりました。モームへの思いは、彼の短編集が私の昨年入院生活をとても潤してくれたことに端を発しています。彼ほど読者を楽しませ、かついろいろと人生を教えてくれる作家はそうはいません。昨今は、文学の地域研究も進歩して、モームを単なる通俗的作家としてではなく、歴史的に当時のイギリスの国家戦略の一環を担っていた人物とする見方も定着してきているようです。

そんなことは別にしても、モームの「ジェーン」「物知り博士」「エドワード・バーナードの転落」など遠い国の遠い登場人物たちを相手にしても、わが文学へのいざないの受講者の方々は、まるでご自身の周りで起こっている出来事であるかのように小説中の様々な人生模様を楽しまれ、大胆に自由に論じていらっしゃいました。あのような授業の瞬間は本当に忘れがたいものです。

アンドレ・ジッドの「狭き門」はモームとはがらっと違って、フランス文学らしい信仰と生活の問題を静かに、しかし力強く提示していました。所もテーマも時代も何もかも違うこれら二つの空間を、自由に行き来できるのも、読書の大きな喜びです。そんな中を受講者の方々と今年度も楽しく逍遙できたのは、ほんとに講師冥利に尽きると言わねばなりません。ありがとうございました。

山田詠美や遠藤周作の小説の舞台、またモームの南洋ものや開高健の「ロマネ・コンティ一九三五年」なども考えてみると、今年は旅の多い題材になったかもしれません。受講者の方々のまた豊かなる叡智の旅に出られることを祈っています。 (吉田 泉)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・14(水)	北日本文学賞 「月と鱧」	富山県芸術文化協会 名誉会長 吉田 泉
2	5・28(水)	開高健 『ロマネ・コンティ・一九三五年』から 「ロマネ・コンティ・一九三五年」(文春文庫)	
3	6・11(水)	サマセット・モーム 『モーム短篇選(上)』から 「ジェーン」(岩波文庫)	
4	6・25(水)	遠藤周作 『影に対して』から 「影法師」(新潮文庫)	
5	7・9(水)	サマセット・モーム 『モーム短篇選(下)』から 「物知り博士」(岩波文庫)	
6	9・3(水)	アンドレ・ジッド 『狭き門』(光文社文庫)	
7	9・17(水)	吉行淳之介 『原色の街・驟雨』から 「原色の街」(新潮文庫)	
8	10・1(水)	山田詠美 『風味絶佳』から 「風味絶佳」(文春文庫)	
9	10・22(水)	森鷗外 『山椒大夫・高瀬舟』から 「高瀬舟」(岩波文庫)	
10	11・5(水)	サマセット・モーム 『モーム短篇選(上)』から 「エドワード・バーナードの転落」(岩波文庫)	

119 朗読を楽しもう

市民大学において2年目となる「朗読を楽しもう」講座では、読む・聞く・出会う（文章や人）という3つの楽しみを知って頂けたらと思っています。

朗読というと堅苦しく思われるかもしれませんが、日常生活における話し言葉と同じで、読み言葉を声に出すだけなので、難しくも何ともないのです。ただほんの少し、こんな風に読んだら、聞きやすいかもしれないという、コツを学ぶことは良いことかもしれません。

ある本に、『朗読の効果として、健康効果（ストレス発散、認知症予防、集中力や記憶力をアップ）・美容効果（新陳代謝が活発に、アンチエイジング、美しさキープ）がある。』と書かれてありました。人生100年時代と言われますが、「朗読」はピッタリかもしれません。

10回ある講座では、毎回例文（絵本・小説・詩など）を示して朗読に取り組み、私の語りも聞いて頂きます。そして、最後の回では、自分の好きな文章を、人前で発表して終了となります。

また昨年度の市民大学祭では、希望された受講者の方々と一緒に、ステージ発表をすることができました。こちらも楽しい思い出の一つになりました。

こうした活動をする間に、「読む」「聞く」「出会う」楽しさを知って頂き、受講生の皆さんと共に、これからの日常生活の中で、効果が表れるような楽しい朗読を取り入れていけたらと願っています。

（立田 ひろみ）

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・8（木）	発声・朗読の基礎について	朗読グループ「言の葉」 代表 立田ひろみ
2	5・29（木）	絵本を読んでみよう	
3	6・12（木）	民話・昔話を読んでみよう	
4	6・26（木）	小説（現代・時代物・朗読劇）を読んでみよう	
5	7・10（木）	詩・短歌・俳句・川柳等を読んでみよう	
6	9・4（木）	エッセイを読んでみよう	
7	9・18（木）	落語（絵本）を読んでみよう	
8	10・2（木）	群読をやってみよう	
9	10・30（木）	各自の読みたい文章を決定し、練習する	
10	11・6（木）	自分の好きな文章を人前で読む（発表）	

120 落語のはなし

『笑う門には福来る』誰しもが知っていることわざの一つでしょう。西洋の方でも『笑いは副作用の無い最良の薬だ』という言葉もあると聞きます。ではなぜ、笑うことが健康に良いのでしょうか？

- ① ストレスの解消とリラクゼーション・・・笑うことにより顔の筋肉が動きそれによって脳が適度に刺激され結果、これが緊張をほぐすことになる。
- ② 深呼吸効果と細胞の活性・・・笑うことで自然に呼吸が大きく腹式になり酸素を取り入れる量も増え、これが血中に取り込まれ、末端まで活性される事になる。この場合の活性はいわゆる運動により生まれる活性酸素とは異なる物である。さらにリラックスと合わせることで胎教にも最適。心配性で過敏な母体と笑顔で過ごしている母体との差は、胎内にいる子どもへの影響が明らかに異なる。
- ③ 笑うことにより感情が高揚し、自律神経が活発になりそれが免疫力を高め病気にかかりにくい身体になったり、アンチエイジングに繋がることも期待できる。

他にもいろいろとあるのです・・・なんて偉そうなことを書いてますが実はこれ全て六代目圓楽師匠の受け売りなんです。すみません。

とにかく笑うことは身体にも心にも良いということ。落語を聴いて笑って楽しく健康的に過ごしてみたいかがでしょうか？えっ？お前の落語じゃ笑えない？はい、この講座で皆さんと一緒に私も落語を勉強して頑張ります！！

(三遊亭 良楽)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・20(火)	落語実演(1)	落語家 三遊亭良楽
2	6・17(火)	落語よもやまばなし その1	
3	7・1(火)	落語よもやまばなし その2	
4	7・15(火)	落語よもやまばなし その3	
5	7・29(火)	落語実演(2)	
6	9・2(火)	落語よもやまばなし その4	
7	9・16(火)	落語よもやまばなし その5	
8	9・30(火)	落語よもやまばなし その6	
9	10・14(火)	落語よもやまばなし その7	
10	10・28(火)	落語実演(3)	

121 日本の歌、世界の歌

『日本の歌、世界の歌』今年度の講座が終了した。今年で4期続けての開講となった。歌は一番身近な音楽である。人の身体が楽器であり、誰でも、どこでも歌うことができる。そんな「歌」の魅力を、ちょっとした知識とともに味わっていただきたいと思ってこの講座を行っている。前半5回は「日本の歌」、後半5回は「世界の歌」をテーマに、「日本の歌」では日本に西洋音楽が入ってきた黎明期に生まれた唱歌や童謡、その後歌い継がれてきた数々の歌を、歴史や、旋律と詩の関係性などの面から紹介。「世界の歌」では、中世から現代まで、それぞれの時代にどんな地域でどのような歌が生まれたかなどについて紐解いていった。いずれも5回の講義に押し込めるには紹介したいことが多くて、あれやこれやと工夫しながらの中で、今年もメゾ・ソプラノの堀江季理子さん、ピアニストの中川歩美さんにお手伝いいただき、不肖私も歌わせていただき、生演奏の魅力もたっぷり味わえる講座となったと思う。

受講される皆さんにはリピーターの方も多く、熱心で、意欲に満ちていることには驚かされる。その期待に答えられるように、続けて受講していただいても新たな体験ができるよう、講義内容にも少しずつ変化を加えている。来期も、また新たな気持ちで様々なジャンルの歌の魅力を伝える講座が開講できたらと考えている。

(宮原 麻子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・15(木)	日本の歌 その1 ～日本での西洋音楽の夜明け、唱歌～	音楽プロデューサー 宮原 麻子
2	5・29(木)	日本の歌 その2 ～童謡運動から「みんなのうた」へ～	
3	6・12(木)	日本の歌 その3 ～詩と音楽・日本の旋律～	
4	6・26(木)	日本の歌 その4 ～様々なアプローチによる日本の歌～	
5	7・10(木)	【公開講座】(会場:市民プラザ南側4階アンサンブルホール) 日本の歌 その5 ～日本歌曲の魅力～	
6	9・11(木)	世界の歌 その1 ～中世・ルネッサンス・バロック時代の歌～	
7	9・25(木)	世界の歌 その2 ～バロック・オペラから古典派の歌曲～	
8	10・9(木)	世界の歌 その3 ～ロマン派の歌曲～	
9	10・23(木)	世界の歌 その4 ～華麗なるオペラの世界～	
10	11・6(木)	【公開講座】(会場:市民プラザ南側4階アンサンブルホール) 世界の歌 その5～オペレッタ・ミュージカル・ジャズ～	

122 音楽サロン

2025年は、1700年代から1800年代の世界のハープ作品で始めました。続いて、日本のメロディー（お江戸日本橋、島原の子守唄等）を管弦楽で聴き、ウィーンで活躍したチェコの作曲家ヴァンハルの交響曲も珍しく、トランペットとオルガンの共演でヴィヴァルディからバッハ、ヘンデル、シューベルト、グノーに至る作品も興味深かったと思います。変わったところでは「シネマ・セレナーデ」と称してヴァイオリンのパールマン氏とオーケストラで有名な映画音楽も面白かったようです。アメリカの指揮者で作曲家のバーンスタインの作品は、ジャズの要素も含まれ新鮮で、ラテンアメリカ音楽はハツラツとした気分で、ダンスをしているようだったのでは。

公開講座の歌では、アヴェ・マリア特集、ヘンデル、スメタナのオペラアリア、スッペ、シュトラウスのオペレッタ数曲、古くなつかしい日本の童謡等、2台ピアノでは、シュトラウスのポルカと「ウィーンの森の物語」等、多彩な音を楽しんでいただけたのでは？

フランスの作曲家サン・サーンスも今年生誕190年にあたり、オルガン付きの交響曲（少し長かったのですが）、フォーレ生誕180年、ラヴェル生誕150年で選曲しました。珍しいのは、生誕440年17世紀のドイツで最も偉大な作曲家シュッツの作品を聴いていただき、イタリアのロカテッリは作曲家でヴァイオリニストで生誕330年でも古さを感じない合奏協奏曲で、シベリウスは生誕160年で北欧の力強さと広がりを感じるステキな響きでした。今年度は、生誕にこだわり、バッハ、ヘンデルの作品も多数聴いていただきました。ほんの少しでもリラックスしていただけたなら、よかったです。（松本 明子）

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	4・22(火)	18～20世紀、欧米の音楽(1)	声楽家 松本 明子
2	5・20(火)	18～20世紀、欧米の音楽(2)	
3	6・3(火)	18～20世紀、欧米の音楽(3)	
4	6・17(火)	18～20世紀、欧米の音楽(4)	
5	7・1(火)	18～20世紀、欧米の音楽(5)	
6	7・15(火)	18～20世紀、欧米の音楽(6)	
7	9・2(火)	18～20世紀、欧米の音楽(7)	
8	9・30(火)	18～20世紀、欧米の音楽(8) (会場：市民プラザ南側4階アンサンブルホール) 演奏：松本明子ほか	
9	10・14(火)	18～20世紀、欧米の音楽(9)	
10	10・28(火)	18～20世紀、欧米の音楽(10)	

123 女声合唱

2024年度から、5年ぶりに「女声合唱コース」として復活することになり、今年も音楽活動を皆様と継続できることを大変喜ばしく思っております。

今年度は女声合唱組曲、岩河三郎氏が作詞構成、作曲を手がけた「富山に伝わる三つの民謡」を課題曲としました。素敵に構成された組曲の中から「越中おわら」と「むぎや」を選曲しました。受講者の皆さんは合唱コースのステージでの発表を目標として、練習に励んでいます。

昨今、地方都市である富山市にはたくさんの観光客が訪れています。そして今年、富山市がニューヨーク・タイムズ紙の2025年に行くべき52か所の中に選ばれました。今回、課題曲の一つである「越中おわら」に由来するおわら風の盆も紹介されています。豊かな自然と風土によって生まれ、古い歴史とともに現代に残る伝統文化に改めて多くの方々が目を向け始めているのを感じています。歌詞に紡がれた言葉ひとつひとつがしっかり聴き手に届くように、情感こめて、また古き良きものが宿す力強さを表現できるよう練習しています。そして、受講者の皆さんは昨年度に比べて着実に上達していると実感しています。

これまでの受講者の方々の熱意と講座に係わる皆様の努力により、長い年月を指導者として講座に携わることができていますことを心より感謝申し上げます。どなたでも気軽に、そして楽しく過ごせる場所を合唱を通じて提供できるよう、今後も一層精進して参りたいと思います。(瀬戸 和江)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・14(水)	●発声法を学び、楽しい合唱を通じ音楽に親しむ。 ○女声合唱組曲「富山に伝わる三つの民謡」 作詞構成・作曲：岩河三郎	指揮 ヴォーチェ・カナリーノ 主宰 瀬戸 和江
2	5・28(水)		
3	6・11(水)		
4	6・18(水)		
5	6・25(水)		
6	7・2(水)		
7	7・9(水)		ピアノ オンディーヌ 主宰 椎名富美子
8	9・10(水)		
9	9・24(水)		
10	10・1(水)		
11	10・15(水)		
12	10・22(水)		
13	10・29(水)		
14	11・5(水)		
15	11・12(水)		

124 リコーダー演奏を楽しもう

リコーダーを手にするのは小学校を卒業して以来という受講者もいるのでは、との思いから本コースでは、その名前の通り「楽しく」をモットーにして難しいことは極力排し、「できること」を積み重ねるようにしてきました。「できること」が増えたとリコーダーの演奏を通して「音楽の素敵」を感じる機会が多くなるので、「演奏を楽しむ」頻度を増やすことができたのではないかな、と思っています。

「音楽の素敵」と言いますと、開設2年目になった今年は、2重奏に挑戦する試みを加えて、さらに「素敵」を増幅させるようにしました。基本的な活動の内容は昨年度と同様にソプラノリコーダーのスキルアップが中心なのですが、2年目の受講者もいることから、アルトリコーダーとのアンサンブルにも取り組みました。ソプラノだけでも本数が重なると、一人で演奏している時と比べて楽しさは増幅しますが、違った音が加わってハーモニーが生まれると、「演奏しているという実感」や「和音に身を委ねる心地よさ」が加わり「音楽の素敵」を更に強く感じる事が出来たのではないかな、と思っています。

市民大学祭の発表では、私たちが感じた「素敵」を聴いてくださる皆様にお届けしたいとの思いで、ホールに響く独特な残響の中で、楽しく演奏することができました。

今後は、毎回の演奏で感じた「音楽の素敵」を引き続き追求め、機会があれば仲間とのアンサンブルに楽しみの世界を広げて行って欲しい、と願っています。 (大坪 史尚)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・19(月)		
2	6・2(月)	○ リコーダーを吹こう ・指の使い方について ・舌の使い方について ・息の使い方について ・舌と息と指の連動について	リコーダー・アンサンブル「パレット」 バス・リコーダー奏者 大坪 史尚
3	6・16(月)		
4	6・30(月)		
5	7・14(月)		
6	8・25(月)	○ 楽譜を読もう ・音楽の約束事について ・実際の楽譜の読み方について ・作曲家(編曲者)の「願い」について	アシスタント リコーダー・アンサンブル「パレット」 テナー・リコーダー奏者 大坪 仁子
7	9・1(月)	○アンサンブルを楽しもう ・耳を働かせて ・目を働かせて ・心を働かせて	
8	9・29(月)		
9	10・20(月)	○レパートリーを増やそう	
10	11・10(月)		

125 世界の国々

ネパールの宗教と、釈迦生誕地に広がる密教

ネパールの宗教は、インドと同様にヒンドゥー教が多数派で、全人口の約80%を占めています。また、ネパールは多民族国家であるため、さまざまな宗教が共存しています。ヒンドゥー教のほか、約10%が仏教徒、約4%がイスラム教徒、約3%がキリスト教徒、約1%がキリスト教徒であり、それ以外にも多様な宗教が存在します。ネパール仏教について

釈迦生誕地ルンビニを有し、エベレスト山を擁する国ネパールでは、7世紀にはすでに仏教が盛んであったことが知られています。玄奘三蔵の『大唐西域記』にもその様子が記されています。

13世紀初頭、インドの仏教寺院（現在のナーランダー大学）がイスラム勢力の侵攻によって滅亡すると、多くの学僧がネパールへ亡命しました。こうしてネパール仏教は、インド仏教（上座部仏教）に加えて、7世紀頃にパドマサンバヴァによって伝えられた大乘仏教（密教）が広まりました。

一部では、バジュラヤーナ仏教がネワール族などの少数民族によって受け継がれ、ネパール仏教として守られてきました。ネパール仏教の大部分はチベット仏教と相互に影響を与えながら発展し、時代とともにニンマ派、カギュ派、サキャ派、ゲルク派といった宗派が形成されました。その中でも最も古いニンマ派は、タントラやマントラを用い、日常生活や文化の中で深く信仰されてきました。現在でも、医療の代わりにマントラを用いる地域社会が存在します。

しかし、14世紀末にヒンドゥー教徒の王朝が成立すると、僧侶の身分がカーストとして固定され、僧侶は世襲の形式的な儀礼者へと衰退していきました。さらに18世紀、インド系のシャハ王朝がカトマンドゥ盆地を征服すると、在来のネワール文化が弾圧され、仏教は滅亡寸前となりました。ネパール仏教が再び世界に知られるようになったのは、19世紀半ば、イギリス人外交官によってサンスクリット文献が紹介されたことがきっかけです。

理解していただきたいこと

人類は長い年月をかけて生き方やマナーを磨き、現在の社会を築いてきました。その過程で宗教が発展し、社会の進化を支えてきました。宗教の発展によって、人々は野生的な生き方から離れ、互いに支え合い、一人ひとりを尊重し、家族・親戚・友人・知人・地域社会、そして国境に至るまで、社会が明確に形づくられてきました。歴史の中で形成された心理的・宗教的な社会と、現代の物質的な社会との間で良いバランスを保ちながら生きる方法こそが、仏教の「中道」であると考えられます。（ダルマ・ラマ）

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・16（金）	国際協力の現場から	(一社) Think Locally Act Globally 事務局長 小島 路生
2	5・30（金）	お釈迦様の誕生地でひろがる密教の現状	富山ネパール文化交流協会 会長 ダルマ・ラマ
3	6・13（金）	イギリス人が語る本物のイギリス	ジョンの英会話教室 代表 ジョン・ガラガー
4	6・27（金）	ブラジルと日本のつながり	富山県国際交流員 リマ・上原・マルコス・パウロ
5	7・11（金）	日本人が知らないベトナムのこと	富山県国際交流員 グエン・ティ・タオ
6	7・25（金）	アメリカの文化：移民と多様性の国	富山県国際交流員 アリス・リース
7	8・29（金）	中国、どこまで知っているでしょう	富山県外国人ワンストップ相談センター 相談員 増山 暁潔
8	9・26（金）	知っているようで知らないロシア	金沢大学・富山県立伏木高等学校 非常勤講師 ボンダレンコ・オクサナ
9	10・17（金）	アフリカの歴史から学ぶ －アフリカと日本のつながり－	上智大学 助教 大平和希子
10	10・31（金）	中米の国ホンジュラス －地域の人々が支える教育－	富山外国語専門学校 講師 坂下 静香

126 美術の世界

-富山市ガラス美術館 企画展・コレクション展-

本年度は、当館で開催された企画展およびコレクション展を題材に、鑑賞講座を実施しました。受講者の皆さまには、20名ほどの小グループに分かれていただき、学芸員とともに2階から4階の展示室を巡り、作品を間近に鑑賞しながら、現代ガラスアートの魅力や素材としてのガラスの特性について理解を深めていただきました。

前期は、富山ガラス工場の開設30周年を記念して開催された企画展「Gathering^{ギャザリング}-つなぐ創造力」と、コレクション展「光の『うつわ』」を鑑賞しました。「Gathering」では、これまで工房に所属した81名の作家による作品を通して、富山のガラス文化が培ってきた多様な表現や創造力をご覧いただきました。「光の『うつわ』」では、ガラスが持つ透過・反射・屈折といった特性を生かした作品を取り上げ、素材の奥行きと光との関係を探りました。

後期には、当館開館10周年を記念した企画展「Lives^{ライブス}-富山市ガラス美術館所蔵品選」と、コレクション展「ガラス×えがく」を鑑賞しました。「Lives」では、当館が所蔵する現代ガラスアートの中から約50点を厳選し、「生」というテーマで、あらためてコレクションの特色を振り返りました。「ガラス×えがく」では、ガラスに絵付けを施す技法や、ガラスそのものを造形的に用いる表現など、作家の発想と造形力を紹介しました。

今後も当館では、受講者の皆さまに向けて、現代ガラスアートおよび富山のガラス文化の魅力をわかりやすくお伝えし、芸術を身近に感じていただけるよう努めてまいります。

(北村 仁美)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・13(火)	法隆寺と聖徳太子の美術	富山大学学術研究部芸術文化学系 准教授 三宮 千佳
2	5・27(火)	【現地学習】(会場:富山市ガラス美術館) 富山ガラス工場開設30周年記念展 Gathering-つなぐ創造力	市ガラス美術館 副館長 北村仁美/主任学芸員 西田 真
3	6・10(火)	【現地学習】(会場:富山県美術館) 企画展「石岡瑛子 I デザイン」	富山県美術館 主任 江尻 育世
4	6・24(火)	【現地学習】(会場:富山県水墨美術館) 生誕140年 YUMEJI 展 大正浪漫と新しい世界	富山県水墨美術館 副主幹 丸山多美子
5	7・29(火)	影絵から広がる世界	影絵師 ジャック・ランドル
6	8・26(火)	【現地学習】(会場:富山市佐藤記念美術館) 企画展「東洋のやきもの-中国・東南アジア・ペルシア-」	市佐藤記念美術館 学芸員 石黒千香子
7	9・9(火)	【現地学習】(会場:富山県水墨美術館) どうぶつ百景 江戸東京博物館コレクションより	富山県水墨美術館 副主幹 若松 基
8	10・7(火)	【現地学習】(会場:富山市ガラス美術館) Lives-富山市ガラス美術館所蔵品選	市ガラス美術館 主査学芸員 古澤かおり/学芸員 櫻井美佳
9	10・21(火)	【現地学習】(会場:富山県美術館) 企画展「ポップ・アート 時代を変えた4人」	富山県美術館 学芸員 内藤 和音
10	11・4(火)	薬師寺の創立と天平美術	富山大学学術研究部芸術文化学系 准教授 三宮 千佳

127 暮らしの中の和漢医薬学

本年度も、受講者の皆さまには熱心にご参加いただき、講師一同にとっても大変有意義な時間となりました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

本コース「暮らしの中の和漢医薬学」では、東洋と西洋の医薬学を統合的に理解することを目的に、各講師が専門の立場から多角的な講義を行いました。第1回・第2回では、臨床で活躍される漢方医の柴原先生と、病院薬剤部で漢方薬を扱われる加藤先生により、漢方薬の歴史や臨床での使用方法を学びました。

第3回から第9回までは、薬学的視点から和漢薬の基礎と最新研究を取り上げました。「古い薬」と見なされがちな漢方薬ですが、近年の研究によってその作用機序が次々と明らかにされており、さらに漢方成分を基にした新薬開発の試みも進展しています。講義では、こうした最先端の知見を交え、現代医療との接点を紹介しました。

第10回は現地学習として、富山大学和漢医薬学総合研究所・民族薬物資料館を訪問しました。貴重な薬物資料を実際にご覧いただくことで、伝統医薬の文化的背景をより深く体感していただけたと思います。今年は例年以上に多くの方にご参加いただき、学びへの関心の高さを感じました。

本資料館は、世界各地の伝統薬物の知識を保存・展示し、文化継承と現代医療への応用を目指す重要な施設です。定期的に一般公開も行われていますので、機会があればぜひお立ち寄りください。

最後に、私たち講師も複雑な内容をわかりやすくお伝えする難しさを実感しております。今後も改良を重ね、より理解しやすい講義を目指してまいります。再び皆さまとお会いできる日を楽しみにしております。
(中川 嘉)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・16(金)	漢方医学の基本的な考え方	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 柴原 直利
2	5・30(金)	和漢薬の飲み方、効かせ方	富山大学附属病院薬剤部 教授 加藤 敦
3	6・13(金)	健康寿命延長と和漢薬	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 東田 千尋
4	6・27(金)	あぶらを選んで健やかに生きる	富山大学和漢医薬学総合研究所 准教授 渡辺 志朗
5	7・11(金)	がんと和漢薬	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 早川 芳弘
6	8・29(金)	生活習慣病に対する和漢薬	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 中川 嘉
7	9・12(金)	1. 数学で「未病」状態を見つける 2. 漢方薬はナノ医薬品	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 小泉 桂一
8	9・26(金)	和漢薬が作用する遺伝子と健康	富山大学和漢医薬学総合研究所 准教授 金 俊達
9	10・10(金)	植物はなぜ薬をつくるのか?	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 庄司 翼
10	10・31(金)	【現地学習】 (会場:富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館)	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 森田 洋行

128 健康生活の知恵

本コースでは「健康生活の知恵」と題し、オムニバス形式で7名の講師がそれぞれの専門分野に係る話題を学習題とし、お話ししました。

私が担当した第8回では「健康と食生活」が学習題でした。「健康をどう保つか」「毎日の食事をどう整えるか」は、だれにとっても関心が高いテーマと思われます。健康課題はライフステージによって様々ですが、年齢を重ねるにつれて、「生活習慣病」から「フレイル」へと移行していくことが最近注目されています。「フレイル」は、加齢とともに心身の活力がゆるやかに低下していく状態を指します。日常生活での自立、移動能力、転倒の発生に関連することから、健康寿命が短くなることが懸念されています。一方、早めに気づいて適切な心がけをすることで、十分に予防・改善できることもわかってきています。それには栄養や運動が大切になります。講義では、その対策についてお話するにあたり、改めて「食事の大切さ」を感じてもらうこと、食品の組み合わせや調理の工夫など、毎日の暮らしに取り入れられそうな内容を含むことを意識しました。

全10回の講義を通して得られた学びの中から、受講者の皆さまが、ご自身の生活の中に新たなヒントを見だし、いきいきと健やかな日々を送るきっかけとなっていれば大変うれしく思います。最後に、今年度も多くの皆さまが参加下さり、会場で直接お会いしてお話しできたことに感謝申し上げます。

(藤本 孝子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・23(金)	健康生活にむけた Well-being と孤独・孤立予防	富山大学学術研究部医学系 助教 立瀬 剛志
2	6・6(金)	植物資源が持つ長寿への貢献	富山県深層水協議会 顧問 葭田 隆治
3	6・20(金)	健康寿命を延ばす食事	管理栄養士 新村 典子
4	7・18(金)	日本と富山の睡眠習慣の実態と課題	富山大学
5	8・1(金)	心身の健康をメンテナンスしてくれる睡眠の改善方法	名誉教授 神川 康子
6	9・5(金)	セルフメディケーション① 知っておきたい薬の知識	富山短期大学食物栄養学科
7	9・19(金)	セルフメディケーション② 健康食品とのつきあい方	准教授 藤田 恭輔
8	10・3(金)	健康と食生活の関わり —少しの工夫で健康に—	富山大学学術研究部教育学系 准教授 藤本 孝子
9	10・24(金)	富山で医食同源を楽しむ	富山大学
10	11・7(金)	医師が奨める温浴・サウナの利用法	名誉教授 鏡森 定信

129 豊かな心

物があふれ、情報が飛び交う時代に「豊かさ」とは一体どこにあるのだろうか。持つほどに不安が増し、手に入れるほどに心が乾く…そんな矛盾を私たちは生きているといえるのではないか。

この「豊かな心」シリーズでは、人間の内面の豊かさと、をテーマに多彩な事例を取り込み、活気づいた生命力を日常の中に、どのようにして取り入れることができるのかを試みた。

「自分の中のディズニーランド」、これはこのシリーズ4回目のテーマである。ディズニーランドは、徹底して夢を売るテーマパークである。来園者に非日常を体験してもらうために、幾多の工夫が施されている。夢を支える従業員はキャスト、来園者はゲストと呼ばれ、完璧なまでの非日常が提供されている。

このテーマパークでは、夢の国をドリームランドではなく、“ファンタジーランド”と名付けられている。ドリームとは、現実には叶うこと。ファンタジーは、実現不可能な「反実仮想」の世界。昔、人は空を飛ぶ鳥を見て、自分たちもあんな風に自由に空を飛べたらなあ、と思った。人間は鳥にはなれない、でもなりたい！ この熱望が飛行機の発明につながった。

不条理が横行する日常からちょっと抜け出して、非日常を体験する。乾いた現実の中に潤い（オアシス）を取り入れる。たとえそれが実現不可能な世界であっても、心の片隅に「自分のディズニーランド」がある限り、人は生きて行ける。

(永田 円了)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・8(木)	第三のみち	富山国際大学 元教授 永田 円了
2	5・22(木)	虚 飾	
3	6・5(木)	アマゾンの不思議	
4	6・19(木)	自分の中のディズニーランド	
5	7・17(木)	戦争をまなざす	
6	9・4(木)	ストイック	
7	9・18(木)	気分と自分は別もの	
8	10・2(木)	思考のパラダイムシフト	
9	10・16(木)	こころの声を聴く	
10	10・30(木)	脳科学と仏教	

130 リズム体操

リズム体操は、様々なリズムに合わせて体を動かすことで、身体機能の向上、健康維持・増進、認知機能の活性化など、多様な効果をもたらす総合的な運動です。

今年度のステージ発表では、次の3曲を選び体操しました。

1曲目の「黄色いリボン」では、常に変化する体の動きに対応して、バランスを保つ感覚を養うねらいがあります。重心移動を自然に行うための体の使い方は、練習を重ねることでコントロールできるようになり、日常生活で転倒予防に役立ちます。

2曲目の「花の街」は、呼吸と連動した動的ストレッチで、凝りや痛みの原因となる筋肉の緊張を和らげます。姿勢が美しくなり、呼吸も深まることで心も体もリラックスしていただけたと思います。

3曲目の「ハルノヒ」は、体全体をダイナミックに動かして、心肺機能や持久力を高める運動です。多彩な動きを覚えるのは大変でしたが、メロディーに導かれ、タイミングよく体を動かしたり切り替えたりする調整力を養いながら、認知機能の活性化に繋がったと思います。

これからも、心地よい体操を生活の中に取り入れ、前向きな気持ちで健康づくりに取り組んでいただければ幸いです。

(田中 裕子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・13(火)	◇身体ほぐし体操 ・やさしい呼吸法 ・ハンドマッサージ ・体と対話しながら行う体操	体操インストラクター 田中 裕子
2	5・20(火)		
3	5・27(火)		
4	6・3(火)		
5	6・10(火)	◇リズム体操 ・バランスのとれた全身運動 ・血行促進 ・若さと健康保持	
6	6・17(火)		
7	7・1(火)		
8	7・8(火)		
9	7・15(火)	◇美容と健康のための体づくり ・肩こり、腰痛、ひざの痛み予防 ・全身のシェイプアップ	
10	10・7(火)		
11	10・14(火)		
12	10・21(火)	◇クールダウン ・柔軟性を高める体操 ・ゆったりストレッチ	
13	10・28(火)		
14	11・11(火)		
15	11・18(火)		

131 100歳まで歩こう

やっとマスクをつけない生活が戻ってきましたが、年々増す異常気象の変動は、私達の生活や健康に影響を与えているようです。どんな外的要因にも負けない強い体力づくりは、元気な毎日の第1歩です。運動の好みや方法は、多様化傾向が一段と強くなっていますが、続けて行うことこそが、価値があり効果も期待できると思うのです。人生100年を健やかに美しく生きるためには、いろいろな趣味性を豊かに持つことが大切。やがてやってくる夫婦二人のセカンドライフを充実した時間にするために、スポーツや豊かな趣味性が不可欠となるでしょう。人は人との出逢いの中で生きるということ積み重ねていくもののようなのです。スポーツを通じて色々な出逢いをし、楽しく体力づくりを、仲間づくりを、出逢いを大切にしていきたいと強く感じる近ごろです。

「健康の不調の原因は、毎日の生活の中にある。病気を治す秘伝」

1. 病気はニコニコ笑って治すもの。2. 糖尿病は、汗をかいて治すもの。3. 腎臓は、よく噛んで治すもの。4. 胃病は、好物を食べずに治すもの。5. 心臓は、ぐっすり眠って治すもの。6. 満腹は、空腹よりも害多し。7. 肩こりは、足腰鍛えて治すもの。8. ストレスは、感謝と知足の心で大丈夫。9. 痛む時、肩の力を抜いて深呼吸。10. 病気は、気力と体力で治すもの。あっ、そうなんだ。そうだった。と気付きの「秘伝」を参考に、納得しながら、これからの生活に取り入れる価値ありと、スパイス的に活用してみたいと思いました。好奇心は、智恵と幸せをもたらす。と聞いた言葉を思い出しました。

(辰尾 妙子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・14(水)	<ul style="list-style-type: none"> ●ノルディック・ウォーク&ノルディック・エクササイズ ・ノルディック・ウォークの起源・効果・効能 ・ノルディック・ウォークの歩行解析 ・生活習慣病とロコモティブシンドローム 	全日本ノルディック・ウォーク連盟 専門講師 田中 洋
2	5・28(水)		
3	6・11(水)		
4	6・25(水)		
5	7・9(水)		
6	9・3(水)	<ul style="list-style-type: none"> ●ストレッチングで心も体もしなやかに！ ・のんびり、ゆったり 心と体を軽やかに ・健やかな毎日を過ごすための体力づくり ・穏やかな毎日を過ごすための心づくり 	日本スポーツ協会公認 スポーツ指導員 辰尾 妙子
7	9・24(水)		
8	10・8(水)		
9	10・15(水)		
10	10・29(水)		

132 暮らしの実学

富山市はこれまで「災害の少ない街」と言われてきましたが、近年はその認識を改めざるを得ない状況が続いています。2023年7月12日には本市で初めて線状降水帯が発生し、激しい雨が長時間続いたことで、住家の床上浸水などの被害が発生しました。さらに、2024年元旦に発生した能登半島地震では、本市で観測史上初となる震度5強を記録し、津波警報の発表や液状化の被害など、市民生活に大きな影響を及ぼしました。このように自然災害は頻発化・激甚化の傾向にあり、私たち一人ひとりが防災意識を高めることがこれまで以上に重要となっています。

災害から自分や家族の生命、そして日常生活を守るためには、「自助」「共助」「公助」がそれぞれの役割を果たすことが不可欠です。特に発災直後は行政による公助が届くまで時間を要するため、自らの命を守る「自助」と、地域や職場で助け合う「共助」が被害を最小限に抑える柱となります。

本講座では、この「自助」と「共助」に焦点を当て、平常時から取り組むべき備えについて学びます。ご家庭や地域でできる具体的な準備、富山市が作成する地震・津波・洪水・土砂災害などの各種ハザードマップを活用したリスク確認、災害発生時に避難を判断する際に必要な警戒レベルごとの情報の理解、さらには避難時の注意点や持ち出し品の確認など、実践的な内容を盛り込んでいます。この講座を通じて、皆様が「自ら考え行動する力」を養うことを目的としています。

(宇田 英史)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・21(水)	もしもの災害に備えて	市防災課 専門気象予報士 宇田 英史
2	6・4(水)	健康寿命延伸のためのスマートライフ	角川介護予防センター 健康運動指導士 沖 直哉
3	6・18(水)	消費者トラブルとその対処法	J-FLEC認定アドバイザー (消費生活専門相談員・行政書士) 古村理栄子
4	7・2(水)	最後まで私らしく 相続の基本を知る①	高岡法科大学 専任講師 後藤 亜季
5	7・16(水)	最後まで私らしく 相続の基本を知る②	
6	9・3(水)	セカンドライフと生命保険	(公財)生命保険文化センター生活情報室 専任講師 山口 良司
7	9・17(水)	薬や健康食品の選び方・使い方	富山短期大学食物栄養学科 准教授 藤田 恭輔
8	10・1(水)	整理収納の基本	整理収納アドバイザー 浮田美紀子
9	10・22(水)	図書館のある暮らし -活用の第一歩を知る-	市図書館 主任司書 工藤 崇人
10	11・5(水)	暮らしと法律 -不動産を中心に-	弁護士 木下 実

133 楽しい法律

本コースでは、日常生活に関わる法律を身近な視点からわかりやすく学ぶことをねらいとして講義を行いました。法律というと、どうしても難しい専門用語や手続きが目につき、敷居の高い印象を持たれがちです。しかし、契約、家族関係、交通事故や刑事事件など、暮らしのあらゆる場面に関わっているのが法律です。本授業では、できる限り専門用語をかみ砕き、具体的な事例やニュースを取り上げながら、身近なものとして法律への理解を深めることを意識して解説しました。

受講者の皆様がメモを取りながら真剣に耳を傾け、時折うなずきながら聞いてくださっている姿が印象的でした。コースの休憩時間に、講義内容に関するご質問や、実際の事案についての質問をいただきながら、色々な気づきを得ることができ、私自身大変勉強になりました。法廷傍聴の回では、生の事件を見ることが出来て良い経験となりましたとの声が多く聞かれました。私は本年度からの担当ということもあり、準備不足や自分の至らなさを感じる点多々ありましたが、受講者の皆様の学びたいという意欲を強く感じ、講師として大変励みになりました。

本コースは、法律を専門職だけの知識ではなく、市民一人ひとりが自分を守るためのツールとして活用できるようにしていただく、知恵として知っていただくという大切な役割があると考えています。今後も、堅い話になりすぎず、楽しく学び、生活に役立つ内容を伝えられるよう努めたいと思います。

(吉田 洋)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・31(土)	家族と法律 I -夫婦-	弁護士 吉田 洋
2	6・14(土)	家族と法律 II -親子-	
3	6・28(土)	家族と法律 III -相続-	
4	7・12(土)	社会生活と法律 I -事故・災害-	
5	7・26(土)	社会生活と法律 II -仕事-	
6	9・20(土)	財産と法律 I -契約-	
7	9・27(土)	財産と法律 II -不動産-	
8	10・4(土)	財産と法律 III -金銭貸借-	
9	10・15(水)	犯罪と法律 I -刑事裁判傍聴-	
	10・16(木)		
10	11・1(土)	犯罪と法律 II -犯罪-	

134 郷土の料理

近年、富山県内の各地では様々な食材が栽培されたり飼育されブランド化しつつあります。それに伴い今までの郷土料理に加え新しい料理の開発も盛んに行われ根付こうとしています。地産地消、旬産旬消に合わせ家庭での料理も新しくなり、いわゆる「おふくろの味」も変化し、昔ながらの伝統料理や郷土料理も味や形態に加え食材も変わりつつあります。

しかしながら最近の富山県の状況では、異常気象のため野菜や果実の生産にも影響が出ており、加えて昨年から引き続き富山湾での漁獲量の減少も郷土料理の継承にはよくないことが多くなっています。調理して食べようとする時に、必要な材料がこの教室でも手に入らないことがあります。代用食材で調理していますが味や形態が多少変わってしまいます。郷土食を継承していくことが、少しずつ困難になっているのかもしれませんが、そんな中でも受講者の皆さんは「知りたい」「作ってみたい」「受け継いでいきたい」という意欲にあふれておられ心強く思っています。皆さんの手助けになる教室であり続けられれば幸いです。

「白エビのかき揚げ」「白身魚と山菜の昆布め」「ほたるいかの黄身酢がけ」などの春に採れる食材のメニューに始まり、「みょうが寿司」「かんもりのあんかけ」「べっこう」などの夏らしいものや、「いもがいもち」「酢ずいき」「茄子の田楽」「松茸ごはん」「いところ煮」など秋の味がたっぷりのもの、「ぶりの照り焼き」「すりみ揚げ」「鰯の酢入り」「鮎の南蛮漬け」など、富山湾の食材をいろいろ使った料理になっています。

(新村 典子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	4・22(火)	旬の春野菜を使ったふるさと料理	管理栄養士 新村 典子
2	5・20(火)	春の富山湾の料理	
3	6・10(火)	夏を元気に過ごすための料理	
4	7・8(火)	味わってみようお盆料理	
5	9・9(火)	身近な素材で秋の料理	
6	10・7(火)	秋の実りを食卓へ	
7	10・28(火)	伝えておきたい郷土料理	
8	11・11(火)	おばあちゃんの味を大切に	

135 家庭でできる『やくぜん料理』

人の身体は、毎日食べるものから作られています。食養生とは「毎日食べるものこそ薬である」という考え方から、食べ物にはどんな性質があり、どのような働きをし、その働きを生かせるのはどの時季か、そして自分の体にあう食べ方とは何かを考えて食べることになります。「家庭でできる『やくぜん料理』」では、この考え方を基本に、漢方薬局でしか扱っていないような特殊な食材や生薬を使った料理ではなく、スーパーなどで簡単に手に入る身近な食材を使いながら、食材の性質を理解して組み合わせて食べることを続けていただくことを目的にしています。初回の和食の基本となる「主食」「主菜」「副菜」「汁物」「香の物」を組み合わせて食べるいわゆる「一汁三菜」は、日本人が昔から行ってきた食養生の知恵があふれています。体調を整えて病気を未然に防ぐため「何を食べるか」だけではなく「どう食べるか」考えた食事を摂っていただければと思っています。

未病の段階で体調を回復、維持すること、残念ながら病気になった時には、その人にあった、その病気にもあった食養生が必要になってきます。健康長寿には、毎日食べるものこそ大切です。

東洋医学では自然界にあるもの全てを「陰陽五行説」に照らし合わせ、食べ物に関することも「五味、五性、五禁、五感、五穀、五果」などがあり、身体に関しては、「五臓、五腑、五窮、五根、五主、五液、五気、五声」などに分類されています。

(新村 典子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・13(火)	和食は世界で注目される健康食	管理栄養士 新村 典子
2	6・3(火)	春から夏への食事	
3	6・24(火)	夏バテ予防の食事	
4	7・15(火)	疲労回復のための食事	
5	9・2(火)	美容・美肌のための食事	
6	9・16(火)	胃腸にやさしい食事	
7	10・14(火)	老化防止のための食事	
8	11・4(火)	秋から冬への食事	

136 季節の和菓子づくり

私事ではございますが、家族の誕生日が最近ありまして、リクエストされたお菓子が、バースデーケーキではなく、羊羹となりました。びっくりはしていませんが、日本茶に、コクのある羊羹を切ってお祝いしました。今回は洋菓子ではなく和菓子が良かったのですが、本人の好きなもので祝うのが一番です。

和菓子を好む人の中には、いろいろな場合がありますが、もしかしたら、懐かしさが大事なのではないかと思います。あんこが好きとか、洋菓子が嫌いとかもあります。和菓子で何回も食べられているものや、何かの行事で使われる菓子、例えば桜餅とか、花見団子とかは、味と一緒に思い出も満喫できるものです。

デパートの催事や、駅のお土産はいまも進化して新しい味が生まれて人気があります。また、洋菓子は次のブームをねらって世界中のお菓子を求めて製造しています。けれど、和菓子は昔のまま変わらない味が求められています。

時代とともに進化していくものが多いからこそ、古き良き味が懐かしくなるのではないのでしょうか。コンビニのおはぎも美味しいのですが、田舎のおばあちゃんの作ったおはぎを食べたいと思う人がたくさんいるような気がします。

(清水 祥子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	4・24(木)	漉し餡の作り方 かしわ餅	お菓子教室ももほのか 主宰 清水 祥子
2	5・22(木)	粒餡の作り方 草餅	
3	6・12(木)	上用まんじゅう	
4	7・3(木)	あやめだんご	
5	8・21(木)	フルーツあんみつ豆	
6	9・25(木)	練りきり	
7	10・9(木)	栗最中	
8	10・30(木)	はなびら餅	

137 スイーツで0・MO・TE・NA・SHI

市民大学では、洋菓子のコースを開講して、12年となりました。

「美味しいお菓子は、人々の心を幸せにする」という思いで運営しております。これからもこの思いは続けることでしょう。

一年間の学習が終わり、市民大学学友会の集いに参加させていただきました。ご挨拶された講師のお話で、心に残った内容がありました。「『思い』ということが、講座の原動力になること」でした。私も同感でありました。芸術を伝えるにも、食を伝えるにも、人々の心にしみこむ「思い」が必要であると再認識しました。

「富山のまちがにぎやかであること」「美味しいものが食べられること」「平和な環境で暮らせること」等々…私の思いです。

私のスイーツ講座でおすすめのスイーツは、ロールケーキです。シンプルなふわふわのスポンジケーキに、ほんのり甘い生クリームをぬって、採れたての苺を芯にしてくるくる巻いたオーソドックスな洋菓子。一緒に作りませんか？ケーキと紅茶で、至福のアフタヌーンティータイムを満喫してください。

(清水 祥子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・8(木)	母の日に贈るケーキ 苺のロールケーキ	お菓子教室ももほのか 主宰 清水 祥子
2	5・29(木)	父の日に贈るケーキ カスタードプリン	
3	6・19(木)	ジュンブライドに贈るケーキ フルーツケーキ	
4	7・10(木)	さっぱりとしたデザート 米粉バスクチーズケーキ	
5	8・28(木)	夏のおもてなしデザート フルーツティーポンチ	
6	9・11(木)	長寿のお祝いのお菓子 小倉入り台湾カステラ	
7	10・16(木)	コーヒーに合うお菓子 エンガディナー・ヌストルテ	
8	11・6(木)	紅茶に合うお菓子 採れたてアップルパイ	

(2) 創作コース

201 洋画

生きる上で、生活の中でいろいろ抱えながらも、それぞれの方が思い抱く感情は体験や志向性によって異なるとします。洋画コースでは、言葉にし難いような感情や思いを絵に込めることを大切に取り組みました。

25名の受講者の皆さんの出席率も高く、アトリエでは熱心に、時に和やかに交流しながら制作を進めました。描くことに悩まれていても、一筆の工夫で劇的な進化を遂げられ、目を見張る場面もありました。

最終課題の制作では、習作にとどまらず、ご自身の思いを表現される過程を目の当たりにさせていただき、講師として大きな喜びを感じました。

日々の中で忙しい日もあったことでしょう。画材道具を準備して持参するだけでも大変なのに、きちんと描き上げられるところが素晴らしいです。これもひとえに、お一人お一人の努力と持ち前の感性の賜物にほかなりません。

また、職員の方々の温かいご支援にも心より感謝申し上げます。

(古田 恵子)



岡田 玉恵

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・10(土)	画材について 下地作りについて 楽しんで絵を描くこと	一陽会委員 富山県洋画連盟会員 古田 恵子
2	5・24(土)	《自動描写(オートマチックドローイング)》 伸びやかな線を描く 心象風景を具現化する	
3	6・7(土)	《静物》	
4	6・14(土)	観察する 物と空間の形を捉える	
5	6・21(土)	モチーフの関係性と物語を描く 自身のテーマを探求する	
6	7・5(土)	《人物》	
7	7・12(土)	生きた対象と向き合う	
8	7・19(土)	誰もが見慣れている人体の持つ表情の発見	
9	9・13(土)	《風景》	
10	9・27(土)	外に出て、移り行く季節や変化を発見する 遠近感、消失点を意識する	
11	10・4(土)	自身が捉えたもの、着目したもの 自身の物語を想い描く	
12	10・11(土)	《自由課題》	
13	10・25(土)	自身が主体となり、作品を仕上げる	
14	11・1(土)	《作品鑑賞会》	
15	11・8(土)	大学祭展示作品の選考 自身が惹かれるテーマ作品を語る	

202 日本画

今年度の作品制作も順調に進んでおります。

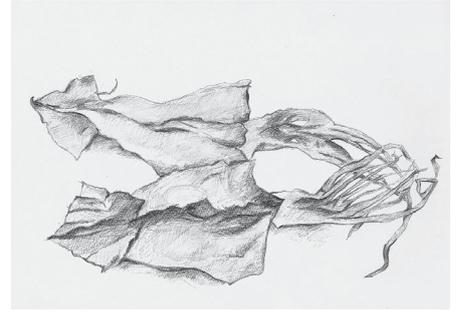
受講生の皆様の作品は風景・人物・植物等様々な題材で制作されています。初心者の方々も慣れない作業に戸惑いながらも熱心に取り組まれ、それぞれ個性的で素敵な作品となっております。仕上がりが楽しみです。

日本画は麻紙(和紙)に日本画独特の絵具を使って描きます。絵具には水干絵具と岩絵具があります。

水干絵具は天然の土や貝殻から作られており、まず細かく粉状にすり潰し、膠液と水を加え練り合わせ溶いて使用します。混色も出来、発色がよく伸びも良いので、なめらかに均一に塗れ色が定着しやすくやや平たんな仕上がりとなります。主に岩絵具の下塗りに使われますが水干絵具だけでも制作が可能ですので、初めての方は水干絵具で作品を完成させます。

岩絵具は天然または合成の鉱石を砕いて作られる砂のような絵具で粒子の大きさも細かい物からあらい物まであり粒子の粗さ、細かさにより表現を調整しながら使いますが、なかなか扱いにくいのですが、岩絵具を重ねた微妙で美しい発色が織りなす日本画にしか出来ないやわらかな絵肌の作品も楽しんでもらいたいと思います。

天野 牧子



(大島 麻美)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・16(金)	画材等の説明 鉛筆デッサン(花、野菜、果物等)	日展会友 市日本画作家連盟常任理事 大島 麻美
2	5・23(金)	鉛筆デッサン(ガラス類)	
3	5・30(金)	デッサン(干物等) 鉛筆デッサン+顔彩着色	
4	6・13(金)	色紙に描く(顔彩で着色)	
5	6・27(金)	作品の為のデッサン 下図制作・下図トレース	
6	7・11(金)	下図着色	
7	7・25(金)	作品の下地作り(胡粉のとき方)	
8	8・22(金)	作品の下塗り(背景の色等水干絵具で着色)	
9	8・29(金)	作品制作・彩色	
10	9・5(金)		
11	9・19(金)		
12	10・3(金)		
13	10・17(金)		
14	10・31(金)		
15	11・7(金)	作品完成・作品講評	

203 版画

版画にもいろいろありますが、このコースでは木版画を勉強します。初めは彫刻刀を上手く使えませんが、慣れてくると彫るのが面白くなってきます。中でも「切り出し」と呼ばれる刀を上手く使えるようになると、細かな部分も彫れるようになってきます。

下絵はじっくりと時間をかけて描きます。誰しもこれが一番悩むところで、何度も直しながら描き上げいきます。そして、出来上がった絵を版木に転写したら、いよいよ彫りの作業に入ります。

彫りは黒い部分を残して、周りを彫っていきます。コツコツと根気よく彫り進みます。これに没頭すると、要らぬことを考えず、気がまぎれると喜ぶ人もいます。

こうした彫りの後は摺りに入ります。時間をかけて丁寧に摺ります。簡単には摺れませんが、どんな風になっているのかと楽しみでもあります。今回も上級生はもちろん、新入生も上手に摺り上げることが出来ました。上級生の中には初めての大きな作品に取り組む人や、多色刷りに挑戦する人もいました。どちらも熱心に取り組み、良い作品になりました。版画は同じものを何枚も摺れるのも魅力です。親しい人にプレゼントしても、手元には1枚残ります。こうした版画の作り方を皆さんと学び、楽しい教室にしたいと思っています。

(矢部 美子)



恒田 満

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・16(金)	木版画 基本彫りⅠ 下絵写し、彫り	版画芸術院会員 矢部 美子
2	5・23(金)	木版画 基本彫りⅠ 彫り、摺り	
3	6・6(金)	木版画 基本彫りⅡ 下絵写し、彫り	
4	6・13(金)	木版画 基本彫りⅡ 彫り、摺り	
5	6・27(金)	木版画 下絵	
6	7・4(金)		
7	7・18(金)		
8	7・25(金)	木版画 彫り	
9	9・5(金)		
10	9・12(金)		
11	9・26(金)	木版画 試し摺り	
12	10・3(金)	木版画 本摺り	
13	10・17(金)	捺摺状 下絵	
14	10・24(金)	捺摺状 彫り	
15	10・31(金)	捺摺状 試し摺り	

204 篆刻

今年度の本コースでは、初めて篆刻をされる方々を中心に、なごやかな雰囲気の中にも高い意欲を感じ、篆刻の基本である文字の成り立ちから講座を始めました。

篆刻とは「篆書」という文字の歴史上、最も古い時代の書体を使い、石に彫り込むことが起源とされ、紀元前よりある文化で人類が文字によってコミュニケーションを取り始めたことを証明するルーツで、長い歴史の間文字は様々な形に変化し、現在に至っています。

篆刻を学ぶにあたり、まず文字の歴史を理解し、基本的な篆書体の知識を学んで参りました。

そして、石に文字を転写してから「彫る」という段階で、まず慣れて頂くために簡単な図形や線から練習して頂きました。自分の名前を辞書で調べ、紙に原稿を書き、石に転写するという行程を一通り体験を通して形にしていきます。

最初は慣れない手つきで彫っておられましたが、徐々にしっかりと力強く刃を進められ、短期間で皆さんとても上達され、捺印しては仕上がり具合を確かめておられました。

また、大学祭に向けての作品づくりは、各々好きな四文字熟語を選ばれ、構成そして彫刻と更に、意欲的に取り組まれ、皆さんの個性が際立つ様々な作風に仕上がり素晴らしい作品となりました。限られた時間の中での講座でしたが、これを機に篆刻文化に興味をもって頂き、一生楽しめる趣味として適しており、今後も一緒に楽しんでいければ良いなと思っております。

(大村雪陵)



松本 孝子

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・15(木)	篆刻の概要と篆刻三法(選文・布字・彫刻)	日本篆刻家協会常務理事 大村 雪陵
2	6・5(木)	篆刻と字源(実技指導)	
3	6・19(木)	名前彫り(実技指導)	
4	7・3(木)	篆刻作品の見方(実技指導)	
5	7・17(木)	石印材と印牋(実技指導)	
6	9・4(木)	参考書・辞典の紹介(実技指導)	
7	9・18(木)	落款と冠冒印(実技指導)	
8	10・2(木)	大学祭出品作品準備	
9	10・16(木)	年賀状(実技指導)	
10	11・6(木)	篆刻について(総まとめ)	

205 書に親しむ

ほぼ全ての方が小中学校の時に授業で学ぶ書道。しかし、そのほとんどの方が、そのまま筆を持たない生活になってしまいます。でも、どこか心の隅には「字をきれいに書きたい」「書道をしてみたい」という気持ちになれる方も多いのではないのでしょうか。

今年度の受講者も、まさにそのような方が多く、初回から真剣そのもの。本講座は書の簡単な歴史から始め、実際の古典の楷書・行書を学びつつ、線のひき方、形の捉え方等 基本的なことを中心に学習していきました。後半は、大学祭に向けての作品作りが中心でした。お気に入りの言葉を自分で選び、その言葉に思いをのせ、筆を運ぶ。皆さん、作品を作ると同時に、作品を通して自然に自分との対話もされていたようです。素敵な時間。

臨書を含め、自分の気にいった言葉を白と黒の世界で表現する。偶然が作り出す魅力的な線や余白美。偶然性もまた書の魅力。このような楽しみが、きっと書に親しむことにつながって行くのでしょうか。受講者の皆さん、素敵な時間をありがとうございました。

(小杉 峰廣)



木村 恭子

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・19(月)	書の基本(歴史、用具、筆の持ち方 等)	富山県書道連盟委員 小杉 峰廣
2	6・2(月)	古典を臨書する(楷書、行書を中心に) 自分の好きな言葉や詩を書く	
3	6・30(月)		
4	7・14(月)		
5	8・25(月)		
6	9・8(月)	自分の作品を作る	
7	9・29(月)		
8	10・6(月)		
9	10・27(月)		
10	11・10(月)	みんなで一つの作品を作る	

206 影絵を作ろう

今回は、影絵で自由に遊びながら、自分のオリジナルストーリーやシナリオを作り、影絵ならではの表現方法を探っていく講座でした。世界にはさまざまな影絵文化がありますが、本講座では、私が実際に公演で用いているOHP（オーバーヘッドプロジェクター）での影絵づくりを基礎に、影の特徴や仕組みを学んでいただきました。映像作品の制作ではOHP自体は使用しませんでした。影を操るうえでの原理や考え方は共通しており、どちらにも通じる技法を体験することができたと思います。



浅岡 政子

講座では、まず影を動かすための基本的な仕組みや、シンプルな操作で大きく表現が変わる“影絵ならではのメカニズム”を体験していただきました。それで遊んで色々一緒に作ってみました。

同時に、この講座は“物語づくり”のクラスとも言えるかもしれません。受講者の皆さんは、それぞれ自分だけの小さなストーリーや場面を考え、その世界に登場するキャラクターを自由に制作しました。当初の予定を超えて、皆さんの発想に合わせて授業内容も柔軟に変化していき、思いついた仕掛けを試したり、影を遊ばせたりしながら、自然と創作の時間が広がっていきました。

皆さんの「影絵で遊ぶ」という姿勢がとても心地よく、お互いの話を見たり、お互いのアイデアを話したり、皆様のおかげでいい雰囲気を作ることができました。

良いシルエットと良いお話には、どちらにも“無駄のない一本の線”が流れています。受講された皆さんが、そのことを体験を通して感じてもらえていたら嬉しく思います。影の中で生まれる物語の楽しさ、光があることで立ち上がる命のような動き。この講座が、そんな影絵の魅力にふれるきっかけとなっていれば幸いです。

(ジャック・ランダル)

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・28 (水)	導入&影絵制作 (影絵の概要と基本的な影絵作り)	影絵師 ジャック・ランダル
2	6・18 (水)	影絵制作&操作練習 (仕掛けの追加・デザインの調整・操作の練習)	
3	7・2 (水)	ストーリー作り (1回目) (好きな物語の一場面を選び、講師の指導でアレンジしたり、一緒に新しい短い場面を考える)	
4	7・16 (水)	ストーリー制作 (1回目のストーリー用の影絵を作り、その場面を撮影)	
5	9・3 (水)	作品上映・ストーリー制作 (1回目のストーリー動画を上映・新しいストーリーを作る または1回目のストーリーを改良する)	
6	9・17 (水)	ストーリー作り (2回目) (新しいストーリーを作る または1回目のストーリーを改良する)	
7	10・15 (水)	ストーリー制作 (2回目:前半) (2回目のストーリー用の影絵を作り、その場面を撮影)	
8	10・29 (水)	上映 (2回目) & 最終アクティビティ (2回目のストーリー動画を上映)	

207～210 陶芸

富山市民大学講座の陶芸を担当させていただき、2年目となりました。今年度も受講者の皆さんと共に、土と向き合う豊かな時間を過ごせましたことを心より感謝申し上げます。

本講座は、全10回で構成されており、その集大成として、「本焼き焼成」を一度だけ行います。陶芸は、粘土で形を作る「成形」、模様や色をつける「加飾」、釉薬（うわぐすり）をかける「釉がけ」と、各工程で多くの工夫を凝らします。しかし、その本当の結果は、焼き終わるまで分かりません。自分の作品がどう焼きあがったか、窯から出てくる瞬間の高揚感。そして、その結果を踏まえて「次はこうしよう」と挑戦できるのが数か月後という、このゆったりとした時間の流れこそが、陶芸の奥深い魅力のひとつです。

陶芸には、無数の技法や材料がありますが、限られた時間の中で新しい発見をしていただけるよう、毎期テーマを絞ってカリキュラムを組んでいます。今年度は、「白化粧土」「染付け」「和紙染め」に挑戦しました。特に素晴らしかったのは、受講者の皆さんの探究心と工夫です。私が用意した見本を遥かに超える、個性豊かで温かみのある作品が次々と焼きあがりました。教室の中だけでなく、ご自宅でも「次はどんなデザインにしようか」「あの技法はどうなっているんだろう」と、陶芸のことを考え、楽しんでくださったのだと思います。皆さんの熱意が伝わってきて、講師として大変ありがたく感じております。

この奥深い趣味が、皆さんの人生を豊かにするひとつの要素となれば、これほどうれしいことはありません。
(中山 朱津子)



加藤 裕子

回数	月・日（曜）				学 習 題
	前期A	前期B	後期A	後期B	
1	5・9(金)	5・20(火)	8・22(金)	8・26(火)	焼き物の工程について 手口クロで作る（抹茶碗・盛鉢など）
2	5・16(金)	5・27(火)	8・29(金)	9・2(火)	前回作品の削り仕上げ
3	5・23(金)	6・3(火)	9・5(金)	9・9(火)	手口クロで自由制作
4	5・30(金)	6・10(火)	9・12(金)	9・16(火)	前回作品の削り仕上げ
5	6・6(金)	6・17(火)	9・19(金)	9・30(火)	板づくりで作る（皿・小鉢など）
6	6・13(金)	6・24(火)	9・26(金)	10・7(火)	素焼きの窯づめ 下絵デザイン 土練り 電動口クロ体験
7	6・20(金)	7・1(火)	10・3(金)	10・14(火)	素焼きの窯出し 下絵付け 釉がけの準備
8	6・27(金)	7・8(火)	10・10(金)	10・21(火)	釉がけについて 下絵付け
9	7・4(金)	7・15(火)	10・17(金)	10・28(火)	釉がけ 本焼き窯づめ
10	7・11(金)	7・22(火)	10・24(金)	11・4(火)	窯出し 作品講評会 作品渡し
講師 富山県工芸作家連盟会員 中山 朱津子					

(3) プラネットコース

301 富山の郷土玩具“土人形”を作ろう

早いもので、土人形の市民大学の沢野講座も、11月の市民大学祭で、無事に終了しました。大学祭では、干支の絵付け教室も開催され、午の土鈴を楽しく彩色しました。会話も弾みながら、手慣れた筆さばきで、かわいい午の土鈴が、出来上がりました。

講座は、前半五回は、粘土制作、後半五回は、絵付け彩色です。粘土は、型込め作業ですので、ポンと、形がくっきり、飛び出てきます。自分で、形を作り上げる必要が無いので、皆さん、夢中になって楽しんでおられます。人形の鼻や口、目を確認すると、思わずにっこり。数年、続けて講座に通っていただいている受講生の方は、手際よく、十数個の土人形を制作します。自分だけの土人形に、粘土をひとひねり、工夫は、どんどん、広がっていきます。

今年度の受講生は、17名です。例年に比べて、多くの方々に、参加していただきました。初めて参加いただいた方が、半数近くおられ、例年にも増して、粘土遊びが楽しく、多種多様な土人形が、出来上がっていききました。

彩色は、もっと自由です。原色のくっきりした人形が好きな方、渋い落ち着いた彩色にお雛様を仕上げられる方、土の素朴さを生かしたい方など、いろいろです。

私も、富山の郷土玩具である土人形を、たくさんの方々に親しんでいただきたく、四季おりおりの人形を制作しています。ぜひ、多くの方々に、直接、粘土に触れて土人形制作を、体験していただきたいものです。

(古川 圭子)



城岸 美雪

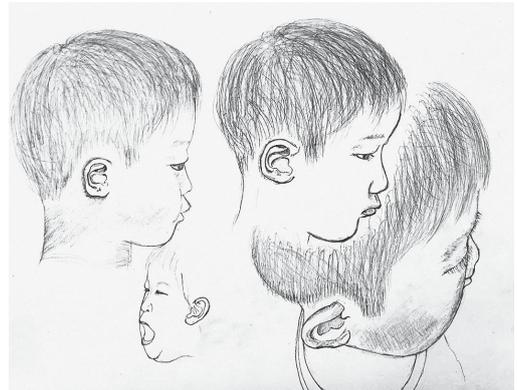
回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・20(火)		
2	6・3(火)		
3	6・10(火)	粘土 型込めで招き猫、雛人形、天神様などを作る	
4	7・1(火)		
5	7・22(火)		
6	9・2(火)		土人形制作講師 古川 圭子
7	9・30(火)		
8	10・7(火)	彩色 窯で焼き上げた人形に絵付けする	
9	10・21(火)		
10	11・11(火)		

302 日本画（大沢野）

多様化を極める現代の日本画の状況において、明確な定義はないと思っています。各時代の様式や、それによって生まれた技法などを通史的に見わたすと、日本画に対する個々人の考えの道筋ができるのですが、残念ながら多くの時間を割けませんので、この講座では主たる材料である膠や顔料、墨などを使って和紙に絵を描くことを目標としています。

日本画を教える講師という立場にあることの一番のありがたさは、私自身を見つめ直すきっかけを与えていただいていることだと思いますが、今年度ほどそれを痛感したことはありません。今はほとんどの方の手元にはいつもスマホがあり、簡単に写真が撮れ加工もでき、世界中の情報が溢れ、AIは求めるものを瞬時に導き出してくれる時代。そのような時代でありながらも日本画を描きたいと思う人が集まってこられる現実。人はなぜ絵を描くのか、日本画とは何なのか…。これらの問いかけが私をゆきぶり、何を伝えるべきか覚悟が必要でした。

絵を描くことは自分と出会うこと。うまくいかない時間も含めて愛おしく、その一枚の絵がきっと未来の自分を支えてくれると信じて、共に描いていきましょう。（網谷 真佐美）



若宮 真自

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・8（木）	日本画について（画材等の説明） 鉛筆写生	日展会友 網谷真佐美
2	5・22（木）	鉛筆写生	
3	6・5（木）		
4	6・19（木）	着彩写生	
5	7・3（木）	作品制作の準備、着彩写生	
6	7・17（木）		
7	7・31（木）	小下絵制作（ねらい、構図、色彩計画）	
8	8・7（木）	下図制作	
9	8・21（木）	膠・絵具・胡粉等の扱い方	
10	9・11（木）	骨描き	
11	9・18（木）	作品制作	
12	10・2（木）		
13	10・16（木）		
14	10・30（木）		
15	11・6（木）	作品完成・作品講評	

303 うまい水のルーツを探る

本コースは、立山連峰や有峰湖を水源に、常西幹線用水路など農業水利施設をはじめ関連施設を利用して、富山市民の約7割に供給されている“おいしい水”の理解を深めていただくため、座学及び現地学習を実施しています。

私からは、「常西合口用水」の歴史や施設概要を説明するとともに、県営水力発電事業や北陸電力(株)の常願寺川有峰発電計画＝J・A・Pにより建設された有峰ダムなど発電施設との共存、小水力発電による再生可能エネルギーの取組み、全国に先駆け水辺環境・農村景観の保全に取り組んだ常西プロムナードを紹介しました。

「常西合口用水」は、今から135年前の明治26年に常願寺川左岸にある12か所の取水口を一箇所に統合（合口化）、当時の工事が歴史的・技術的・社会的に価値があると認められ、令和2年12月に県内で初めて世界かんがい施設遺産に登録されています。施設は現在も農業用水のほか発電用水や上水・工業用水に利用されていること、有峰ダム建設に伴い水稲栽培への冷水障害が懸念されたことから、ダム湖の表面取水を行っていること、昭和59年度に「やすらぎある農村施設整備事業」を県が創設し、遊歩道や案内施設を整備するなど、農業用水に関わる者として、地域の暮らしを支える水の歴史を説明しました。

本コースでは、常願寺川水系の地勢や治水砂防事業・発電事業の歴史、施設見学など幅広い内容で“うまい水のルーツを探る”機会が提供されています。

(水谷 英二)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・15(木)	常願寺川が作る大地のかたち	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 丹保 俊哉
2	5・29(木)	【現地学習】(会場：立山カルデラ砂防博物館) 暴れ川・常願寺川ー治水と砂防の歴史ー	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸員 是松 慧美
3	6・5(木)	【現地学習】(会場：横江頭首工管理事務所ほか) 水との闘いと用水の歴史	常願寺川沿岸用水土地改良区連合事務局長 横江頭首工管理事務所所長 山本 健次
4	6・26(木)	水の源ー立山の雪と氷河を探るー	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長 飯田 肇
5	7・10(木)	世界かんがい施設遺産「常西合口用水」の歴史	常西用水土地改良区 事務局長 水谷 英二
6	7・31(木)	【現地学習】(会場：大山歴史民俗資料館) ー湖底に沈んだ有峰村ー「電気王国」と「水の王国」	大山歴史民俗研究会 山森 潔
7	9・4(木)	【現地学習】(会場：上下水道局流杉浄水場) 水道水ができるまで	上下水道局 流杉浄水場 主幹 高嶋 宏文
8	9・25(木)	【現地学習】(会場：常西公園小水力発電所ほか) 上滝地区の治水の歴史	上滝地区観光ボランティアガイドの会 高橋 勝美
9	10・23(木)	とやまの水を知ろう／おいしさのワケ	富山県生活環境文化部県民生活課 水雪土地対策係 副主幹 辰尾 朋子
10	11・13(木)	くらしと水ーおいしい水を調べるー	富山国際大学 名誉教授 尾畑 納子

304・305 手作り銀粘土アクセサリー

この講座では銀粘土という素材を使い純銀のアクセサリーを作っていただくことができます。

銀粘土とは銀の微粉末と水と結合剤でできた水溶性の粘土です。

こねて形を作った粘土を乾燥させて水分をとばし、次に 800℃の電気窯で結合剤を焼き切ることで純銀の作品となります。

指輪はそのままでアクセサリーですが、銀のチャーム作品はペンダントやブレスレット、イヤリング、ピアスなどアクセサリーに仕立てなければなりません。

ペンダントでしたらチェーンにするか革ひもにするか、ビーズなどを連ねネックレス状にしたものにつけるか、太さ長さはどうするかで印象がかなり違います。またチェーン等の端留め金具や、銀チャーム作品を吊り下げる金具は何にするかなど選択肢は様々です。ブレスレットもしかり。ぜひいろいろ選んで頂き自分だけのこだわりのアクセサリーを作って頂ければと思っています。さらにアクセサリーがどのような部品でどう組み立てられているか把握していると金具外れなどのちょっとした故障に対応でき長く愛用していただけるのではないかと思います。

(後藤 千百合)



土肥 宏至

回数	月・日(曜)		学 習 題	講 師
	前 期	後 期		
1	5・20(火)	9・9(火)	ペンダントトップを作しましょう(1) (デザインを考え造形します)	アクセサリー工房 「ONE PLACE」主宰 後藤千百合
2	5・27(火)	9・16(火)	ペンダントトップを作しましょう(2) (焼成し、いぶし仕上げにします)	
3	6・10(火)	10・28(火)	指輪を作しましょう(1) (デザインを考え造形します)	
4	6・24(火)	11・4(火)	指輪を作しましょう(2) (形成し、焼成します)	
5	7・8(火)	11・11(火)	指輪を作しましょう(3) (鏡面に磨きます)	

306 飛越往来

－西猪谷関所から猪谷関所館へ－

猪谷関所館所蔵の橋本家文書「安政四年諸国大地震留」には、安政南海地震（1854年）を伝える記述の中に次のような一文があります。

・・・船々川内江飛込諸人地震ニ恐れ逃出右船ニ家内打乗川中江出居候者夥敷津波ニ引取られ候由・・・

南海地震の際、水路が発達している大阪では、家の崩壊を恐れて小舟に乗って避難する人たちがいました。そのため、河口に碇泊していた船が上流へ押し流されながら橋に衝突し、小舟で避難しようとした人々や橋にいた人々が投げ出され溺死しました。

津波の被害は想定外だったのでしょうか？

ところが、南海地震の147年前に発生した宝永地震（1707年）でも、小舟で避難しようとした人々が溺死しました。南海地震と同じような被害が宝永地震でもあったのです。

なぜ、この失敗が教訓として南海地震で生かされなかったのでしょうか？

147年という年月の長さ。商業都市・大阪は、人の入れ替わりの激しい都市でした。そのため親から子へ、子から孫へと、災害の記憶が伝わらなかったと考えられます。つまり、想定外ではなかったということです。

歴史を伝えることは、命を守ることに繋がります。

（舟杉克巳）

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	4・23（水）	八尾の曳山と飛越往来	越中八尾曳山保存会 会長 栃山 仁一
2	5・14（水）	西猪谷関所から猪谷関所館へ	猪谷関所館 前館長 舟杉 克巳
3	5・28（水）	記録にみる飛騨郡代の越中通行	こくふ歴まちネット代表 安国寺住職 堀 祥岳
4	6・11（水）	戦時下の食料増産と農兵隊	とやま歴史的環境づくり研究会 代表 高岡 徹
5	6・18（水）	飛越国境の鉾山	飛騨歴史民俗学会 会長 福井 重治
6	7・2（水）	縄文時代の飛越往来	高山市教育委員会 文化財課 主査 大石 崇史
7	7・16（水）	飛越往来と砺波の石仏	日本石仏協会 理事 尾田 武雄
8	9・3（水）	神通川流域の両生類・爬虫類	富山県生物学会 会員 福田 保
9	9・17（水）	数を数える飛越の縄文人	富山文化研究会 代表 藤田富士夫
10	10・1（水）	橋本家文書にみる養蚕の姿	猪谷関所館 元館長 加藤 敏一

開講式・特別講演会



開講式（市民プラザ・アンサンブルホール）

特別講演会

講師 能登乃國・和倉温泉 多田屋
若女将 多田 弥生 氏

演題 「和倉温泉と能登半島地震
—旅館の記録から—」



コース風景



「村（ムラ）と町の考古学」（現地学習）



「100歳まで歩こう」



「日本画（大沢野）」



「影絵を作ろう」



「書に親しむ」



「うまい水のルーツを探る」（現地学習）

特別講義



演題「三味線の歴史と今～そして新時代へ～」

わくわくキッズ教室



「土人形の絵付け」

富山市民大学祭



パネル展示



ステージ発表「女声合唱」



ステージ発表「朗読を楽しもう」



作品展示



ステージ発表「リズム体操」



体験レッスン「土人形」



特別講演会

「とやまのます寿し」を学ぼう～歴史・文化・産業～
 富山ます寿し協同組合 理事長 大郷 磨 氏
 富山大学人文学部 教授 鈴木 景二 氏
 (株)富山市民プラザ本社事業部
 マネージャー 中屋 州策 氏



公開講座

「落語に親しもう」
 講師 三遊亭 良楽 師匠
 (富山市民大学「落語のはなし」コース講師)

閉講式・特別講演会



閉講式 (市民プラザ・アンサンブルホール)



特別講演会

きららガラス未来館名誉館長 野田 雄一 氏
 演題
 「ガラスの街 富山」はー市民大学ガラス工芸コースからー

1 富山市民学習センター運営協議会

(1) 委員名簿

(委員任期 令和7年7月1日～令和9年6月30日)

No	氏名	役職等	選出区分
1	会長 藤田 公仁子	富山大学名誉教授	有識者
2	職務代理人 木本 秀樹	富山市医師会看護専門学校講師 富山市民大学講師(食と住の文化史、歴史史料をひもとく)	富山市民大学講師
3	森野 かよ子	株式会社 富山市民プラザ 駐車場事業部グランドパーキング駐車場長	有識者
4	堀川 教世	富山県立大学地域連携センター所長	有識者
5	大島 麻美	富山市日本画作家連盟常任理事 富山市民大学講師(日本画)	富山市民大学講師
6	奥野 美友紀	富山県立大学非常勤講師 富山市民大学講師(江戸時代の文学を読む)	富山市民大学講師
7	大西 宏治	富山大学人文学部教授 富山市民大学講師(富山のまち)	富山市民大学講師
8	岡田 茂	富山市民大学学友会会長 令和元年度から富山市民大学受講	富山市民大学受講者
9	田 篤 詩賀子	令和3年度から富山市民大学受講	富山市民大学受講者
10	永井 由記	令和元年度から富山市民大学受講	富山市民大学受講者

(2) 富山市民学習センター条例・施行規則(平成17年4月1日施行)

① 条例抜粋

(運営協議会)

第14条 センターの運営に関し必要な事項を協議するため、富山市民学習センター運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

3 協議会の委員は、生涯学習に関し優れた識見を有する者及び生涯学習関係団体等を代表する者のうちから委員会が委嘱する。

4 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(委任)

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

② 施行規則抜粋

(協議会)

第6条 条例第14条に規定する富山市民学習センター運営協議会(以下「協議会」という。)に会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめ、会長の指定した委員がその職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集し、その会議の議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、センターにおいて処理する。

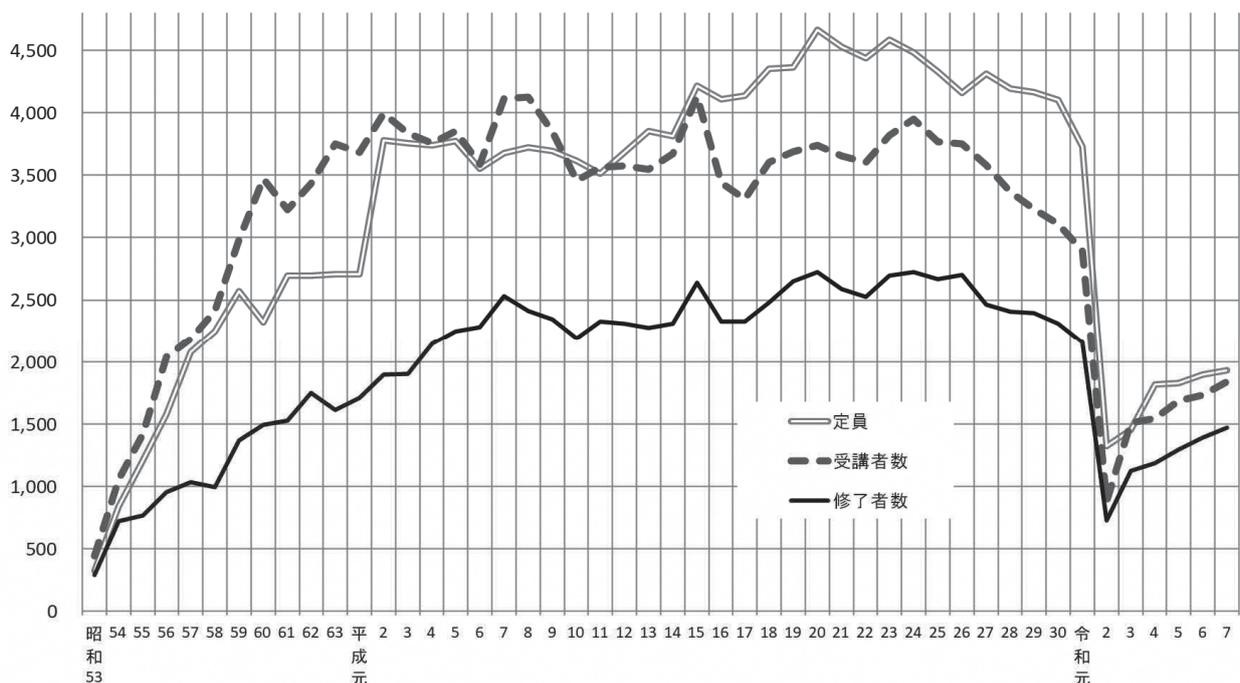
2 富山市民大学 受講者数の推移

○ 年度別一覧

年度	昭和53	59	60	61	平成元	7	16	17	18	19	20	24	25	26	27
西暦	1978	1984	1985	1986	1989	1995	2004	2005	2006	2007	2008	2012	2013	2014	2015
コース数	8	38	37	48	45	52	57	57	63	70	79	79	78	76	78
定員	320	2,570	2,320	2,695	2,705	3,676	4,111	4,139	4,354	4,367	4,667	4,482	4,330	4,163	4,313
受講者数	444	2,987	3,473	3,222	3,683	4,118	3,441	3,312	3,607	3,688	3,740	3,950	3,770	3,750	3,583
修了者数	291	1,369	1,493	1,525	1,711	2,532	2,326	2,326	2,480	2,648	2,723	2,727	2,670	2,704	2,463
備考		・ガラスエッセコース 新設	・コース数増設		・市民プラザ完成 生涯学習都市宣言		・受講料有料化	・新市誕生	・サテライトを新設		・プラネットに改称		・陶芸コース新設 受講料改定		

年度	平成28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7
西暦	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
コース数	76	77	76	73	48	56	53	53	53	53
定員	4,197	4,165	4,107	3,727	1,323	1,451	1,818	1,829	1,894	1,928
受講者数	3,368	3,229	3,109	2,896	878	1,507	1,545	1,685	1,733	1,841
修了者数	2,407	2,394	2,312	2,158	725	1,126	1,187	1,296	1,388	1,472
備考				・とやま市民交流館での コースを年度末で移転 ガラスエッセコースを年 度末で廃止	・新型コロナウイルス感 染防止のためコースと 定員減 受講料改定	・新型コロナウイルス感 染防止のため八・九月 休講 十月再開		・受講申込方法に電子 申請を追加 (令和6年度分)	・富山市ライン公式 アカウントによる 情報配信を開始	

○ 受講者数及び修了者数等の推移



3 富山市民学習センター利用者数の推移

(単位 人)

年度	市民学習センター（市民プラザ内）						国際会議場	CiC	八人町分室	花木分室	合計
	講義室	サークル室	調理室	子どものアトリエ	アートライブラリー	有料施設	メインホール他	学習室 いきいきKAN	実習室	陶芸実習施設	
12 2000	21,665	5,201	1,158	2,174	1,076	14,252			7,509		53,035
13 2001	20,892	5,876	1,249	2,453	809	12,119			7,356		50,754
14 2002	20,957	6,179	1,285	2,624	1,085	12,501			7,516		52,147
15 2003	23,517	6,147	981	2,502	904	12,209			8,190		54,450
16 2004	21,615	5,888	992	2,224	964	10,592		5,630	8,356		56,261
17 2005	21,732	5,565	1,234	2,344	798	10,092		5,543	10,987		58,295
18 2006	21,585	6,223	1,064	2,209	859	10,437		6,091	5,157		53,625
19 2007	22,012	6,085	1,096	2,255	773	11,073		5,759	5,236		54,289
20 2008	20,870	5,620	1,091	2,335	742	11,608		6,851	5,142		54,259
21 2009	20,970	5,485	875	1,837	649	11,070	1,894	5,108	4,061		51,949
22 2010	23,404	4,807	1,171	1,818	978	10,871	600	3,878	4,179		51,706
23 2011	23,980	4,570	1,294	1,620	772	9,734	600	5,043	4,128		51,741
24 2012	25,536	4,503	1,401	1,844	722	13,159	530	4,692	4,398		56,785
25 2013	24,745	4,169	1,147	1,764	704	12,605	607	2,691	3,567	544	52,543
26 2014	23,920	3,914	1,201	1,546	626	11,926	440	3,206	3,201	338	50,318
27 2015	22,896	3,909	1,112	1,715	496	9,300	506	4,710	3,073	342	48,059
28 2016	23,570	3,586	1,293	1,593	537	12,323	470	2,540	2,802	308	49,022
29 2017	25,220	3,601	1,236	1,967	609	12,596	392	1,933	2,596	412	50,562
30 2018	23,360	3,573	1,260	1,747	505	11,917	395	1,844	2,591	421	47,613
R1 2019	22,517	3,481	1,264	1,091	429	11,340	422	485	2,598	442	44,069
R2 2020	5,749	1,835	265	227	236	822				149	9,283
R3 2021	13,290	2,479	611	412	201	4,154				311	21,458
R4 2022	13,423	2,259	583	246	198	4,391				310	21,410
R5 2023	13,862	2,110	669	426	192	4,505				354	22,118
R6 2024	13,968	2,105	537	1,031	224	5,432				430	23,727
R7 2025	13,871	1,707	507	696	181	5,200				422	22,584

(注)・令和7年度は、1月末までの人数。

・講義室は、講義室1・2・3とアトリエの合計人数。

・サークル室は、サークル室1～5の合計人数。

・有料施設は、富山市民プラザ（アンサンブルホール、アトリウム、AVスタジオ、アートギャラリー、マルチスタジオ、練習室、楽屋A・B）の合計人数。

・国際会議場は、メインホールと多目的会議室の合計人数。（令和2年度より利用無し）

・CiCは、平成26年度から3階学習室に5階いきいきKANを加えた合計人数。（令和2年度より利用無し）

・分室人数は、平成17年9月までの丸の内、11月から八人町の利用人数。（令和2年度より利用無し）

4 特別講演会一覧表（令和元年度～）

年度	月日	講 師	演 題	会 場
令和元 (2019)	4・12	東京大学 名誉教授 今西 典子	ことばの不思議さ	富山国際会議場 メインホール
	11・3	気象予報士・防災士 木地 智美	魅力ある富山の気象と自然 ～地球温暖化で変わる気象災害～	山田公民館
	11・30	富山県中央植物園企画情報課 副主幹 大原 隆明	富山県のサクラ	市民プラザ アンサンブルホール
	2・14	立山ガイド 佐伯 知彦	夢は叶う！ ～世界一の頂からみえたもの～	市民プラザ アンサンブルホール
令和2 (2020)	新型コロナウイルス感染対策のため中止			
令和3 (2021)	4・15	富山大学附属病院総合感染症センター 教授 山本 善裕	感染対策を正しく学ぼう！ ～新型コロナウイルス感染症を中心に～	市民プラザ アンサンブルホール
	11・3	落語家 越中家 漫欽丹	笑いは人生の特効薬	山田公民館
	11・27	気象予報士・防災士 木地 智美	美しい富山の空と温暖化で変わる 気象災害	市民プラザ アンサンブルホール
	2・14	富山大学 名誉教授 北村 潔和	一生涯を自立してすごすためには	市民プラザ アンサンブルホール
令和4 (2022)	4・15	俳優 朗読座主宰 紺野 美沙子	心に響く言葉を伝えよう －朗読とともに－	市民プラザ アンサンブルホール
	11・3	北日本放送パーソナリティ 鍋田 恭子	笑いコミュニケーション	山田公民館
	11・19	世界最高齢女性クロスカントリースキーヤー 佐伯 克美	今日と同じ明日のために	市民プラザ アンサンブルホール
	2・10	富山大学学術研究部教養教育学系 准教授 水野 真理子	富山のコスモポリタン －翁 久允の軌跡	市民プラザ アンサンブルホール
令和5 (2023)	4・17	プロフェッショナルラグビーコーチ 大西 一平	「自分づくりと仲間づくり、健康づ くりが未来を変える」ラグビー編	市民プラザ アンサンブルホール
	11・3	落語家 三遊亭 良楽	～笑いコミュニケーション～	山田公民館
	11・30	株式会社カターレ富山 代表取締役社長 左伴 繁雄	地域とともに歩む ～県民クラブとしての成長を～	市民プラザ アンサンブルホール
	2・9	落語家 柳家 さん生	落語で紡ぐ故郷への想い －「とやま噺」創作への挑戦－	市民プラザ アンサンブルホール
令和6 (2024)	4・17	富山地方気象台 リスコミュニケーション推進官 木津 暢彦	南極観測越冬隊の1年間 ～地球の裏側で、どうモチベーションを維持し続けたか～	市民プラザ アンサンブルホール
	11・3	落語家 桂 米福	～笑いは健康の特効薬～	山田公民館
	11・30	(株)能作 代表取締役会長 能作 克治	地域と共に生きる 伝統産業の取り組み	市民プラザ アンサンブルホール
	1・30	講演家 腰塚 勇人	命の授業 ～ドリー夢メーカーと今を生きる～	市民プラザ アンサンブルホール
令和7 (2025)	4・18	能登乃國・和倉温泉 多田屋 若女将 多田 弥生	和倉温泉と能登半島地震 －旅館の記録から－	市民プラザ アンサンブルホール
	11・3	歯科衛生士 精田 紀代美	～おもしろ健口長生きのひみつ～	山田公民館
	11・22	とやまます寿し協同組合 理事長 大郷 磨 富山大学人文学部 教授 鈴木 景二 (株)富山市民プラザ本社事業部 マネージャー 中屋 州策	「とやまのます寿し」を学ぼう ～歴史・文化・産業～	市民プラザ アンサンブルホール
	2・10	きららガラス未来館 名誉館長 野田 雄一	「ガラスの街 富山」は －市民大学ガラス工芸コースから－	市民プラザ アンサンブルホール

5 叢書一覧表

番号	講師	演題	発行日	番号	講師	演題	発行日
1	山崎 正和	社交と日本文化	昭 54.11.10	25	宮島 春彦	芝居の魅力 －佐々成政の劇化をしつつ－	平 元.3.31
2	馬場あき子	女歌の世界	昭 55.11.10	26	芳賀 登	近代日本の女性の生き方	平 元.3.31
3	加藤 秀俊	二十一世紀の日本文化	昭 56.3.31	27	頼 新	頼山陽とその志業について	平 元.3.31
4	角田 房子	私たちの時代の歴史	昭 57.3.30	28	生江 義男	戦後教育の回想と展望	平 2.3.31
5	山崎 正和	地域の時代の文化	昭 57.3.31	29	木田 宏	情報化時代と教育	平 2.3.31
6	佐伯 彰一	外から見た日本文学	昭 58.3.31	30	大輪 靖宏	江戸文学にみる人間の生き方 －雨月物語を中心に－	平 2.3.31
7	中西 進	家持における伝統と創造	昭 58.3.31	31	犬養 智子	女 いまステキ人生 －女性から変わる価値観－	平 2.3.31
8	吉田 健三	国際化時代の日本	昭 58.3.31	32	松山 利夫	環境と文化 －民族学の立場から－	平 2.8.31
9	杉本 邦子	小寺菊子 －人と文学－	昭 59.3.31	33	三善 晃	なぜ私たちは歌うのか	平 2.8.31
10	木村 治美	心の時代・ことばの時代	昭 59.3.31	34	水津 一郎	ヨーロッパと日本の間 －文化地理学的再考－	平 3.3.31
11	馬場あき子	文学のこころ	昭 60.3.31	35	藤原 てい	生きる －私の歩いた道を通して－	平 3.3.31
12	村山 古郷	郷土の文学者素琴 志田義秀をしのぶ	昭 60.3.31	36	上山 春平	日本の文明史について	平 3.9.30
	志田 延義	恩師 素琴 志田義秀先生の師徳をしのんで 父を語る		37	瀬沼 克彰	生涯学習時代の到来 －今、どう実践するか－	平 3.12.13
13	森本 哲郎	旅先から見た日本	昭 60.3.31	38	古屋 和雄	幸せって何だろう？	平 4.3.31
14	大河原良雄	アメリカから観る日本	昭 61.3.31	39	平沢彌一郎	足の裏は語る －現代人の健康と寿命－	平 4.11.16
15	辺見じゅん	父 角川源義を語る	昭 61.3.31	40	高田 好胤	日本の心	平 4.12.13
16	野村 万作	狂言の面白さ	昭 62.3.31	41	犬養 廉	小倉百人一首と歌がるた －みやびの伝統－	平 5.3.31
17	日下 公人	ソフトに考えよう未来	昭 62.3.31	42	盛永 宗興	無生死の道	平 5.3.31
18	李 芒	中国人の見た日本文学	昭 62.3.31	43	吉村 作治	古代エジプトの謎	平 6.2.28
19	黒岩 重吾	源氏鶏太氏を語る	昭 62.3.31	44	菅原真理子	高齢化社会と学ぶよろこび	平 5.12.1
20	鈴木 忠志	国際化時代の文化	昭 62.3.31	45	千葉 熨	中国の皇帝と后妃	平 6.3.31
21	木崎さと子	生きること信ずること	昭 63.3.31	46	弓場 通義	海から学んだ私の宝物	平 6.3.31
22	真継 伸彦	日本人のこころ －信仰のすがた－	昭 63.3.31	47	古田 武彦	古代航海と日本海文明	平 7.2.20
23	廣瀬 誠	郷土の先賢 内山逸峰・内山外川をしのぶ	昭 63.3.31	48	久世 光彦	普通に生きる －向田邦子の人と作品－	平 7.3.20
	内山 協一	内山逸峰翁の万葉思慕をめぐって 内山逸峰・内山外川から学ぶもの		49	木田 元	闇屋から哲学へ －人はいかにして哲学しはじめるか－	平 7.11.20
24	菊地龍三郎	地域の教育力と青少年の育成	平 元.3.31	50	中西 進	現代文明と古代	平 7.12.20

番号	講師	演題	発行日
51	ひろさちや	もう一つの物差し	平 8.3.31
52	守屋 洋	中国古典に学ぶ人間学	平 8.7.20
53	中村 元	動物から学ぶ	平 8.12.5
54	舛方 勝宏	人生 遠まわり	平 9.3.31
55	矢崎 節夫	金子みすゞの宇宙 -みんなちがって みんないい-	平 9.7.7
56	田上 恵	痛みからの解放	平 9.7.7
57	高橋 誠	生き生き人生の特効薬は 「独創丸」	平 10.6.30
58	吉永みち子	共生時代の男と女	平 10.9.24
59	藤井 一二	大伴家持の越中・能登紀行	平 11.11.1
60	佐原 真	大昔と私たち	平 11.12.1
61	中西 智海	こころの花びら	平 12.9.1
62	中田 善夫	シドニー、国体そして21世紀	平 13.3.31
63	稲本 正	森と人の未来	平 13.10.1
64	左 時枝	花と芝居と私	平 13.11.15
65	大星 光史	心の癒しと文芸	平 14.10.1
66	松井 治伸	くらしの目線で見えること	平 15.3.31
67	本木 克英	喜劇映画のできるまで	平 16.2.1
68	高野 悦子	私のシネマライフ	平 15.12.1
69	童門 冬二	戦国武将に学ぶ知恵	平 17.2.25
70	山田 法胤	心やわらかに 今を生きる	平 17.3.31
71	永井 美之	感染症に備える	平 18.1.31
72	高田 宏	ふるさと北陸に心寄せて	平 18.2.23
73	田辺 鶴英	鶴英ちゃんの修羅場介護日記	平 19.2.23
74	金田一秀穂	心地よい 日本語	平 19.3.30
75	黒岩 祐治	どうなる日本	平 19.7.31
76	高田 明和	中高年の危機「脳は若返る」	平 20.3.30

番号	講師	演題	発行日
77	正高 信男	考えないヒト	平 20.7.31
78	山口 仲美	ここが面白い 日本語の歴史	平 21.3.31
79	山本 博文	忠臣蔵の真実	平 22.3.30
80	林 成之	脳の本質から学ぶ 違いを 認めて共に生きる幸せ	平 22.3.31
81	井波 律子	中国古典小説の愉しき世界 -「三国志演義」「西遊記」「水滸伝」 「金瓶梅」「紅樓夢」-	平 22.7.31
82	山田 敏弘	富山方言を通してみる遠い 縁・近い縁	平 23.3.31
83	渡辺 房男	「時を読み、時を乗り越える」 安田善次郎の経済哲学	平 23.7.31
84	見瀬 和雄	富山藩と加賀藩 -分家の歩んだ道のり-	平 24.6.30
85	本川 裕	北前船経済圏の歴史的意義 -統計データ分析家によるルーツ探訪-	平 25.7.31
86	隈 研吾	場所の力	平 26.3.31
87	高木 千恵	地域方言の現在 -ことばの地域差とその変容-	平 26.11.25
88	佐藤 勝明	芭蕉の編集力	平 27.9.15
89	綿拔 豊昭	江戸の「百人一首」	平 28.9.1
90	玉城 司	真田丸余興 -戦場からの手紙-	平 29.9.30
91	成瀬 哲生	分かるということ -そこはいつもワンダーランド、 富山再発見のために-	平 30.9.1
92	今西 典子	ことばの不思議さ	令 元.10.1
93	山本 善裕	感染対策を正しく学ぼう！ -新型コロナウイルス感染症を 中心に-	令 3.8.1
94	紺野美沙子	心に響く言葉を伝えよう -朗読とともに-	令 4.8.31
95	大西 一平	「自分づくりと仲間づくり、健 康づくりが未来を変える」 ラグビー編	令 5.8.31
96	木津 暢彦	南極観測越冬隊の1年間 -地球の裏側で、どうモチベー ションを維持し続けたか-	令 6.9.30
97	多田 弥生	和倉温泉と能登半島地震 -旅館の記録から-	令 7.8.18

6 沿革

(1) 歴代所長一覧

年 度	西 暦	施設名	所管（長）	
			役 職	氏 名
昭和53	1978	—	社会教育課課長	稲 垣 剛 一
昭和54	1979	—	〃	田 中 正 信
昭和55～63	1980～1988	社会教育センター	所 長	伊 藤 了 一
平成元	1989	〃	〃	新 藤 正 夫
平成2	1990	市民学習センター	〃	〃
平成3～4	1991～1992	〃	〃	須 山 盛 彰
平成5～6	1993～1994	〃	〃	山 田 時 夫
平成7～8	1995～1996	〃	〃	笹 岡 正 毅
平成9～11	1997～1999	〃	〃	武 内 律 馬
平成12～14	2000～2002	〃	〃	鷲 本 義 昌
平成15～16	2003～2004	〃	〃	島 輝 雄
平成17～18	2005～2006	〃	〃	高 木 義 和
平成19	2007	〃	〃	奥 井 輝 男
平成20～23	2008～2011	〃	〃	西 田 良 正
平成24～26	2012～2014	〃	〃	島 田 芳 一
平成27～29	2015～2017	〃	〃	中 道 文 夫
平成30～令和2	2018～2020	〃	〃	古 木 繁 行
令和3～5	2021～2023	〃	〃	水 上 豊
令和6～	2024～	〃	〃	大 久 保 秀 俊

(2) 年度別事業概要

年 度	富山市民大学				特別講義等	施設・運営等
	回	受講者数 (人)	コース 数	コース 内 訳		
昭和 53 (1978)	1	444	8			・ 第1回富山市民大学開講 (7月1日) (会場:市公会堂別館・市立図書館)
54 (1979)	2	1,057	15			
55 (1980)	3	1,417	21	18コース 3サークル		・ 社会教育センターを富山市民公会堂別館内に設置 ・ 富山市民中央公民館を市立図書館より同館内に移転 ・ 社会教育センター併設 ・ 「紀要」発刊
56 (1981)	4	2,037	24	21コース (外国語コース含) 3サークル	・ 視覚・聴覚障害者コース開設(平成6年度まで継続)	・ 富山市民大学運営協議会設置(6月1日) ・ 富山市民大学学友会発足(6月25日) ・ 富山市民中央公民館廃止(3月末日)社会教育センターが公民館事業継続 ・ 第1回 富山市民大学祭 ・ 学友会「けやき」創刊号発刊
57 (1982)	5	2,184	28	21コース 3サークル 4セミナー		
58 (1983)	6	2,412	31	22コース 3サークル 2セミナー 実務英語 4コース		
59 (1984)	7	2,987	38	25コース 3セミナー 専門英語 10コース		・ 会場:市民学習センター・公会堂別館 ・ 旧市民病院建物をリニューアルして、「市民学習センター」が完成 ・ 同館内に社会教育センターを移転(4月1日)
60 (1985)	8	3,473	37	28コース 5セミナー ガラス工芸 4コース	・ ガラス工芸コース開設(令和元年度まで継続) ・ 特別講義開始	
61 (1986)	9	3,222	48	32コース 5セミナー ガラス工芸 11コース	・ 夏休み親子ガラス工芸教室開始(平成元年度まで継続)	
62 (1987)	10	3,435	50	33コース 5セミナー ガラス工芸 12コース		・ 富山市民立図書館へ社会教育センターを移転 ・ 市民大学開設10周年記念事業:「富山市民大学の歌」制定・発表(発表会10月23日)
63 (1988)	11	3,752	47	30コース 5セミナー ガラス工芸 12コース	・ 夏期特別講義	・ 一般コース・セミナー会場:公会堂・市立図書館

年 度	富山市民大学			特別講義等	施設・運営等	
	回	受講者数 (人)	コース 数			コース 内 訳
平成 元 (1989)	12	3,683	45	28コース 5セミナー ガラス工芸 12コース	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み親子ガラス工芸教室終了(年度末) ガラス工芸コースを分室(市第一勤労青少年ホーム)へ移転 富山市制「100年」100周年記念事業 「生涯学習都市宣言」(12月15日) 市民プラザ完成、同内に社会教育センター移転 アート・ライブラリー設置 「紀要」を「学報」に改称 	
2 (1990)	13	3,996	56	34コース 8セミナー ガラス工芸 14コース	<ul style="list-style-type: none"> 地域講座開始(平成9年まで継続) 親子造形教室開始(平成26年まで継続) 	<ul style="list-style-type: none"> 一般コース・セミナー会場：富山市民プラザ 機構改革により社会教育センターを市民学習センターに名称変更
3 (1991)	14	3,835	55	33コース 8セミナー ガラス工芸 14コース		
4 (1992)	15	3,759	55	33コース 8セミナー ガラス工芸 14コース		<ul style="list-style-type: none"> 市民学習センター分室を「市第一勤労青少年ホーム」から「丸の内旧市消防署分庁舎」へ移転
5 (1993)	16	3,857	53	33コース 8セミナー ガラス工芸 12コース		
6 (1994)	17	3,587	54	33コース 9セミナー ガラス工芸 12コース	<ul style="list-style-type: none"> 視覚・聴覚障害者コース終了(年度末) 	<ul style="list-style-type: none"> 第6回全国生涯学習フェスティバル「まなびピアとやま'94」に参加
7 (1995)	18	4,118	52	一般32 専門8 ガラス工芸12	<ul style="list-style-type: none"> 若者夜間創作工芸講座(試行) 	<ul style="list-style-type: none"> セミナーを専門と名称変更 単位制導入(専門コース) 修了証の廃止(一般・ガラス工芸コース)
8 (1996)	19	4,126	52	一般32 専門8 ガラス工芸12	<ul style="list-style-type: none"> 若者夜間創作工芸講座開始(平成21年まで継続) 聴覚障害者生涯学習コースの再設、終了 	<ul style="list-style-type: none"> 託児制度の導入(リズム体操コース。平成26年まで1～3コースで継続)
9 (1997)	20	3,850	52	一般32 専門8 ガラス工芸12	<ul style="list-style-type: none"> 地域講座終了(年度末) 夏休み中学生工芸教室開始(平成12年まで継続) 	<ul style="list-style-type: none"> 市民大学20周年記念事業：市民大学永年講師感謝状贈呈、特別講演会
10 (1998)	21	3,456	53	一般35 専修6 ガラス工芸12		<ul style="list-style-type: none"> 前期・後期制廃止、修了証廃止(専修コース) 専門コースを専修コースへ名称変更
11 (1999)	22	3,563	54	一般31 専修5 創作6 ガラス工芸12		
12 (2000)	23	3,575	53	一般31 専修4 創作6 ガラス工芸12	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み中学生工芸教室終了(年度末) 	<ul style="list-style-type: none"> 第20回 富山市民大学祭記念として、第1回市役所展示会(平成16年まで継続)
13 (2001)	24	3,548	55	一般37 創作6 ガラス工芸12	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み中学生ガラス工芸教室開始(平成27年まで継続) 	

年 度	富山市民大学				特別講義等	施設・運営等
	回	受講者数 (人)	コース数	コース 内 訳		
平成 14 (2002)	25	3,673	55	一般37 創作6 ガラス工芸12		
15 (2003)	26	4,131	56	一般38 創作6 ガラス工芸12		
16 (2004)	27	3,441	57	一般39 創作6 ガラス工芸12		<ul style="list-style-type: none"> ・受講料有料化 ・一般7コースをとやま市民交流館(CiCビル3階)で開設(令和元年まで継続) ・市民学習センター分室を八人町小学校へ移転する準備 ・富山市と6町村合併に伴う準備
17 (2005)	28	3,312	57	一般39 創作6 ガラス工芸12		<ul style="list-style-type: none"> ・富山市民学習センター条例・施行規則制定 ・富山市民学習センター運営協議会設置 ・市民学習センター分室(ガラス工芸)を移転(旧八人町小学校) ・第25回 富山市民大学祭(新市誕生・学友会発足25年記念。婦中・八尾・細入地区からも出展、ステージ発表) ・大沢野・婦中生涯学習フェスティバルへ出展、ステージ発表
18 (2006)	29	3,607	63	一般38 創作6 ガラス工芸15 サテライト4		<ul style="list-style-type: none"> ・大沢野・大山・八尾・婦中にサテライト1コース新設 ・第26回 富山市民大学祭(婦中・八尾・大沢野地区からも出展、ステージ発表) ・大沢野・婦中生涯学習フェスティバルへ参加、パネル展示
19 (2007)	30	3,688	70	一般38 創作6 ガラス工芸15 サテライト11	<ul style="list-style-type: none"> ・親子かがやきネット教室開始(平成20年まで継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大沢野・婦中生涯学習フェスティバルへ参加、パネル展示 ・市民大学開設30周年記念式典
20 (2008)	31	3,740	79	一般38 創作6 ガラス工芸15 プラネット20	<ul style="list-style-type: none"> ・親子かがやきネット教室終了(年度末) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライトからプラネット(6か所)へ名称変更 ・大沢野生涯学習フェスティバル・八尾・山田の各文化祭に参加
21 (2009)	32	3,653	80	一般39 創作6 ガラス工芸15 プラネット20	<ul style="list-style-type: none"> ・若者夜間創作工芸講座終了(年度末) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界自然・野生生物映像祭作品鑑賞
22 (2010)	33	3,603	79	一般38 創作6 ガラス工芸15 プラネット20		<ul style="list-style-type: none"> ・第30回 富山市民大学祭(学友会発足30年記念)
23 (2011)	34	3,820	80	一般39 創作6 ガラス工芸15 プラネット20		
24 (2012)	35	3,950	79	一般40 創作6 ガラス工芸15 プラネット18		<ul style="list-style-type: none"> ・富山市民大学陶芸施設を花木に建設(平成25年度開設準備)

年 度	富山市民大学			特別講義等	施設・運営等	
	回	受講者数 (人)	コース 数			コース 内 訳
平成 25 (2013)	36	3,770	78	一般39 創作10 ガラス工芸10 プラネット19	・受講料改定 ・陶芸実習施設を開設し、陶芸4コース開設（富山市花木28）	
26 (2014)	37	3,750	76	一般40 創作10 ガラス工芸6 プラネット20	・親子造形教室終了 （年度末）	・1コースをいきいき KAN で開設（平成28年度まで継続）
27 (2015)	38	3,583	78	一般43 創作11 ガラス工芸6 プラネット18	・わくわくキッズ教室開始 ・夏休み中学生ガラス工芸教室終了（年度末）	
28 (2016)	39	3,368	76	一般43 創作11 ガラス工芸6 プラネット16	・夏休み小・中学生ガラス工芸教室開始（令和元年度まで継続）	・託児制度廃止（年度末）
29 (2017)	40	3,229	77	一般44 創作11 ガラス工芸6 プラネット16		・閉講式において、市民大学開設40周年記念永年就任講師感謝状授与式
30 (2018)	41	3,109	76	一般43 創作11 ガラス工芸6 プラネット16		
令和 元 (2019)	42	2,896	73	一般41 創作11 ガラス工芸6 プラネット15	・夏休み小・中学生ガラス工芸教室終了（年度末）	・市民学習センター分室（ガラス工芸コース）を年度末で廃止 ・とやま市民交流館での講座を年度末で市民学習センターへ移動
2 (2020)	43	878	48	一般32 創作7 プラネット9		・受講料改定 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前期の講座及び、開・閉講式、第40回市民大学祭、特別講義、わくわくキッズ教室等を中止。 ・講座は後期のみ開講
3 (2021)	44	1,507	56	一般37 創作9 プラネット10		・開・閉講式、特別講義、わくわくキッズ教室等を再開。 ・前期・後期の講座を開催。8、9月は感染症拡大のため中止し、10月より再開、1月終了。 ・富山市民大学祭を再開。（ステージ発表・体験レッスンは中止）
4 (2022)	45	1,545	53	一般37 創作9 プラネット7		・富山市民大学祭において、ステージ発表、体験レッスンを復活。
5 (2023)	46	1,685	53	一般37 創作9 プラネット7		・令和6年度分の受講申込からインターネットによる申込受付を開始。
6 (2024)	47	1,733	53	一般38 創作9 プラネット6		・富山市 LINE 公式アカウントによるイベント等の情報配信を開始。
7 (2025)	48	1,841	53	一般37 創作10 プラネット6		